

荒川区ごみ排出原単位等実態調査
報告書（速報）

平成 22 年 9 月
荒川区

目次

第一章	ごみ排出実態調査	1
1-1	調査の目的	1
1-2	調査項目	1
1-3	調査方法	2
1-4	分類項目	4
第二章	ごみ排出原単位調査報告	5
2-1	家庭ごみ排出実態調査	5
(1)	調査の目的	5
(2)	調査時期	5
(3)	調査対象世帯	5
(4)	調査方法	5
(5)	調査内容	5
(6)	調査結果概要	6
①	不用物の発生量結果	6
②	属性別不用物発生原単位結果	6
A	世帯人数別の不用物発生状況	6
B	住居形態別の不用物発生状況	10
C	クラスター分類による地域別の不用物発生状況	14
③	家庭系ごみ組成分析結果	18
A	可燃ごみ	18
B	不燃ごみ	20
C	資源物	22
2-2	事業系ごみ排出実態調査	23
(1)	調査の目的	23
(2)	調査時期	23
(3)	調査対象事業所	23
(4)	調査方法	23
(5)	調査内容	23
(6)	調査結果概要	24
①	不用物の発生量結果	24
②	属性別発生原単位結果	24
A	業種別の不用物発生状況	24
B	クラスター分類による地域別の不用物発生状況	28
③	事業系ごみ組成分析結果	32
A	可燃ごみ	32
B	不燃ごみ	34
C	資源物	36
2-3	調査結果の解析	37
A	家庭系ごみに含まれる容器包装リサイクル法対象のプラスチック類の状況	37

第一章 ごみ排出実態調査

1-1 調査の目的

「荒川区一般廃棄物処理基本計画」については、平成19年10月に作成し平成23年度に5年間の計画期間が終了する。

この間に荒川区では、大規模集合住宅の建設等による人口の増加、世帯構成の変化、長引く景気低迷による事業所の減少など変化が生じている。さらに、集団回収の区内全域への広がりによる回収品目の拡大及び、平成20年度から実施したサーマルリサイクルによる、分別区分の変更や不燃ごみの収集を月2回に変更した等一般廃棄物処理を取り巻く状況も変化している。

これらの変化を勘案した実態調査を実施し、分析した結果を新たな「荒川区一般廃棄物処理基本計画」の策定、及び更なる3Rの推進と適正処理の徹底に向けた各種施策等の基礎資料として活用することを目的としたものである。

1-2 調査項目

本調査の項目は以下のとおりである。

- (1) ごみ排出原単位等実態調査及びモニターアンケート調査（家庭・事業所）
- (2) ごみ減量及びリサイクル・資源回収への取り組み等に関する意識調査（家庭・事業所）
- (3) データ集計・解析

注：端数処理のため合計が100%にならない場合がある。

1-3 調査方法

・調査の手順（家庭・事業所とも同じ）

① 家庭や事業所への調査協力依頼	
区内の各家庭や事業所を訪問し、調査への協力を依頼した。	
② 調査セットの配布	
	調査に必要な物品一式を配布した。 内訳 ・ごみ排出実態調査について依頼書 ・排出実態調査用アンケート（回答用封筒） ・45ℓビニール袋（黄、白、水色） ・4ℓ透明ビニール袋（家庭のみ） ・ラベルシール（可燃・不燃・資源各8枚）
③ サンプルの回収	
	調査期間中は日曜日を除き、毎日 8～11 時に各家庭及び各事業所を訪問し、サンプルの回収を行った。 調査期間 ＜事業系＞ 平成 22 年 6 月 29 日（火）～7 月 6 日（火） ＜家庭系＞ 平成 22 年 7 月 8 日（水）～7 月 15 日（水）
④ サンプルの搬入	
	回収したサンプルを組成分析作業場所（尾竹橋施設）に搬入した。

⑤ サンプルの分析



- ・毎日、前日1日間に発生した、可燃ごみ・不燃ごみ・資源の3種類について、それぞれに分けて回収し、組成分析を行った。
- ・組成分析は初めに事業所を対象に実施し、その後家庭を対象に実施した。（分類項目は同一）

⑥ 組成別に計量



組成分析項目別に分類したサンプルを、それぞれ計量し、記録した。

⑦ サンプルの廃棄



計量の終了したサンプルを可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごとにまとめ、荒川清掃事務所に依頼して廃棄処理した。

1-4 分類項目

組成分類項目は37項目とし、分類の詳細は 図表1-3のとおりとした。

図表1-3 分類項目表

分類項目		該当する品名
品目		
可燃ごみ	OA用紙	コピー用紙、再生紙、ノンカーボン伝票、コピー済の紙、シュレッダー済みの紙、はがき コンピュータ連続紙、伝票・帳票類、封筒
	その他紙類	弁当などの割り箸の紙袋、クッキングペーパー、のし紙、紙皿、カーボン紙、ハンバーガーの袋、 油紙、写真、窓付き封筒、ティッシュペーパー、レシート、紙おむつ キャラメル等の包み紙、紙コップ、日本酒・焼酎などのアルミ付き紙パック、紙製パック・カップ類
	残さ付き新聞等	新聞、チラシ
	厨芥（未使用）	未使用食品
	厨芥（使用）	調理くず、残飯等
	繊維	衣類・布類、カーテン、毛布、エコバック等
	容器包装類 （プラスチック）	エアゾール缶のオーバーキャップ、たばこなどのオーバーラップ、ビデオテープ等を梱包したフィルム 菓子等のオーバーラップ、バターなどの表面を覆ったフィルム、箱入りクッキーの中の仕切り カップ麺のシュリンクパック、スティック糊等の入れ物、プリンのおた、フィルムカートリッジ カップ麺のおた、チョコレート等を包んでいるフィルム、弁当を包んでいるストレッチフィルム 口紅等の入れ物、トイレトペーパーなどの集積包装、ポケットティッシュの袋、食品トレイの中敷 コピー機等のトナーカートリッジ、トレイ等のラップフィルム、ストローの袋
	パック・カップ類 （プラスチック）	カップ麺の容器（プラスチック製）、豆腐パック、コーヒー飲料等のカップ型容器、色付き・印刷入りトレイ 卵パック、ポリスチレン識別マークのない食品トレイ、弁当の容器
	残さ付き容器包装類 （プラスチック）	洗っていない、ソース等が付着しているもの。厨芥が入っているもの。 カップ麺の容器（残さ付き）、レトルト用品の袋（残さ付き）、色付き・印刷入りトレイ（残さ付き） その他プラスチック容器類（残さ付き）、チューブ状の容器（残さ付き）、弁当の容器（残さ付き） ペットボトル識別マークのないボトル状容器（残さ付き）
	ペットボトル	残さ付き、正しい処理で出されていない物
	白色トレイ	残さ付き、正しい処理で出されていない物
	ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	ボトルシャンプーの容器、ボトルリンスの容器、チューブ状の容器 柔軟剤のボトル状容器、洗剤のボトル状容器、チューブ入り調味料
	プラスチック類その他	CD・ビデオテープ（ケースを含む）、ビニールひも、プラスチック製玩具、スポンジ ビニール袋・ごみ袋（レジ袋以外）、ハンガー、歯ブラシ、上記に含まれないプラスチック製品
	ゴム・皮革	サンダル、皮手袋、野球のグローブ、皮製ジャンパー、鞆、靴、ゴムホース
	レジ袋	コンビニの袋、スーパーの袋
	キャップ類 （プラスチック）	ペットボトルのキャップ、調味料類のキャップ
	発泡スチロールの緩衝材	発泡スチロールの緩衝材、フルーツ等に使われる緩衝材（ネット）
	その他可燃物	木の枝・植物、割り箸、湿布、ぬいぐるみ、灰、たばこの吸殻、ペットのトイレ、上記以外の可燃ごみ
	不燃ごみ	金属類
ガラス・陶磁器類		板ガラス、コップ、食器類（陶器・ガラス）、びん以外のガラス製品、耐熱ガラス製フライパン、茶碗
乾電池		リサイクル出来ない物
充電式乾電池		リサイクル出来る物
ボタン電池		リサイクル出来ない物
蛍光灯		蛍光灯
その他不燃物		上記にあてはまらない不燃物、スプレー缶・ガスボンベ、ライター、刃物などの危険物
資源	新聞等	新聞、チラシ、おチキス等で綴じ込んでいないパンフレット
	雑誌	週刊誌、写真集、文庫本、月刊誌、単行本、漫画雑誌 カレンダー、書籍の外カバー（本の題名が入っているもの）、おチキス等で綴じ込んでいるパンフレット
	段ボール	ジュース（24本入り）等の梱包箱、小型家電製品の空き箱
	飲料用紙パック	牛乳パック、ジュースのパック
	紙製容器包装類	6缶組ビール等の梱包材、ワイシャツなどの台紙、ティッシュの空き箱、包装紙 菓子類の空き箱、紙袋、たばこの包装箱、宅配ピザの空き箱（残さが付いていないもの）
	スチール缶	飲料缶、食用缶
	アルミ缶	飲料缶、食用缶
	リターナブルびん	一升びん、国産焼酎びん、ビールびん、国産ウイスキーびん、ジュースびん
	ワンウェイびん	ワインびん、栄養ドリンクびん、外国産ウイスキーびん
	白色の食品用トレイ	白色トレイ
	ペットボトル	ペットボトル識別マークのあるもの
その他	粗大ごみ、土、18リットル缶・一斗缶、上記にあてはまらないもの	

第二章 ごみ排出原単位調査報告

2-1 家庭ごみ排出実態調査

(1) 調査の目的

本調査は、区内の家庭系ごみ(資源を含む)の、ごみ量および性状等の組成の調査・分析を行い、併せてごみ減量化・リサイクル等に関する区民の意識、取り組み状況を把握することを目的として実施した。

(2) 調査時期

平成22年7月8日(水)から7月15日(水)までの8日間とした。

(3) 調査対象世帯(調査協力世帯116件)

調査地域の選定は、東京二十三区清掃一部事務組合のクラスター分析を参考にして、区内をクラスター分類した。区内の街区状況や町丁別、年代別の人口統計を調べ、地域の特性及び住居形態、世帯人数、世帯構成員、年齢層等の割合に準じ、代表的な地区を選び調査協力依頼を行った。

図表2-1 荒川区の生活形態に着目したクラスター別地域

【該当する代表的な丁目】生活形態に着目したクラスター		
＜クラスター1＞住居が多く人口密度が高く、高齢者も多い地域。		
①南千住1、2、5	②西日暮里4、5、6	③町屋1、2、3
④西尾久1、2、3		
＜クラスター2＞中高層住宅が多く、高齢者が少ない地域。		
①東日暮里1、2、3	②南千住3、7、8	③町屋5、6、7
＜クラスター3＞戸建持家が多く、高齢者も多い地域。		
①東尾久5、6、8	②南千住6	③荒川8

(4) 調査方法

① 排出物の組成分類調査

- ・ 調査協力世帯(モニター)に、事前に配布した袋へ、調査期間中、日ごとに排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源物を、玄関先等の回収場所へ出してもらう。
- ・ サンプルを回収し、組成分析調査所へ運搬、組成分類、計量、集計。

② アンケート調査

- ・ 調査開始当初に、調査協力世帯(モニター)にアンケート用紙を配布し記入依頼をした。
(家族構成、暮らしの中での環境配慮や、ごみ減量等に関する意識調査、及び可燃ごみ、不燃ごみ、リサイクルしている資源物の、通常の排出方法や取り組みについての質問)
- ・ 記入済み調査票の回収、集計。

(5) 調査内容

排出物の組成分類調査は、回収したサンプルを組成分類項目ごとに分類し、重量計測・記録・集計して分析を行う。アンケートは集計し、必要な分析を行う。

(6) 調査結果概要

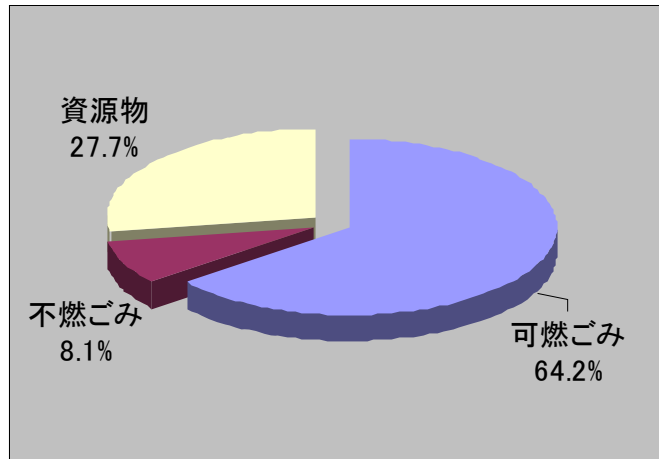
① 不用物の発生量結果（実態調査協力 116 世帯）

今回の調査では、日曜日を除く 8 日間、毎日排出物のサンプルを回収して、組成分類し、計量し、データを集計した。

家庭から発生する不用物の量は 1 人 1 日あたり約 740.9g であった。そのうち可燃ごみが 475.6g (64.2%)、不燃ごみが 60.0g (8.1%)、資源物が 205.3g (27.7%) であった。

図表 2-2 家庭からの不用物発生量

	(g/人, 日)	
	発生量 (g/人, 日)	構成比 (%)
可燃ごみ	475.6	64.2
不燃ごみ	60.0	8.1
資源物	205.3	27.7
合計	740.9	100.0



② 属性別不用物発生原単位結果

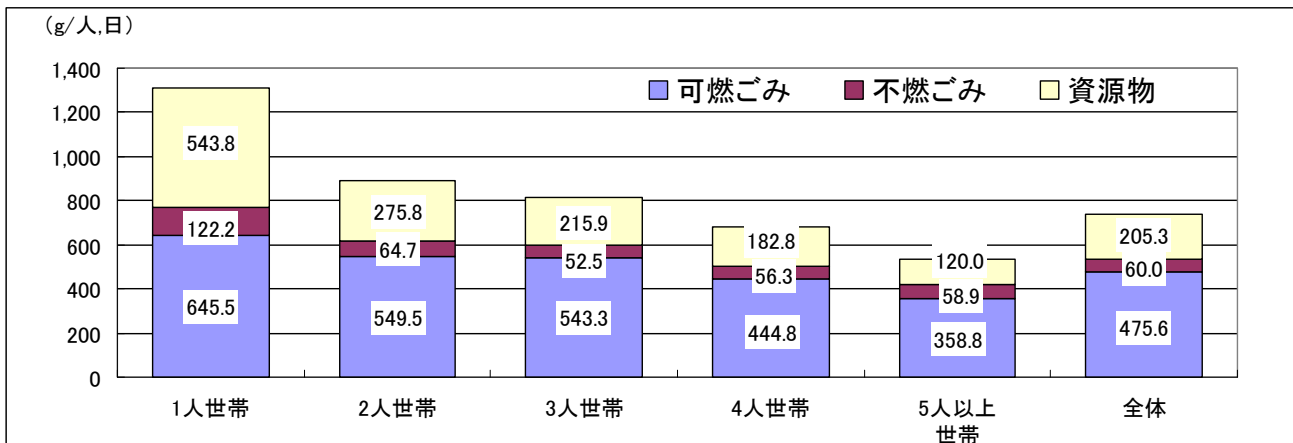
A. 世帯人数別の不用物発生状況

世帯人数別にみると、世帯人数が多くなるに従って不用物の 1 人 1 日あたりの発生量が減少している。不用物発生量の最も多い 1 人世帯の 1,311.5g と最も少ない 5 人以上の世帯の 537.7g では、773.8g の開きが見られた。(全世帯の約 1.8 倍。5 人以上世帯の約 2.4 倍。)

特に資源物において 1 人世帯では 543.8g と他の世帯人数と大きな違いがみられた。(全世帯の 2.6 倍。5 人以上の世帯の約 4.5 倍。)

図表 2-3 世帯人数別不用物発生原単位

世帯人数		(g/人, 日)					全体
世帯数		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	116
1	可燃ごみ	645.5	549.5	543.3	444.8	358.8	475.6
2	不燃ごみ	122.2	64.7	52.5	56.3	58.9	60.0
3	資源物	543.8	275.8	215.9	182.8	120.0	205.3
合計		1,311.5	890.0	811.7	683.9	537.7	740.9



a. 世帯人数別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-4 世帯人数別不用物発生原単位(可燃ごみ)

(g/人, 日)

可 燃 ご み							
世帯人数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	
モニター数	12	37	32	17	18	116	
可 燃 ご み	1. 紙類	158.8	103.9	110.2	116.3	83.0	103.8
	OA用紙	18.9	6.5	8.6	9.8	4.2	7.4
	その他紙類	88.9	83.5	95.3	97.8	67.2	85.0
	残さ付き新聞等	51.0	13.9	6.3	8.7	11.6	11.4
	2. 厨芥類	213.4	230.2	251.9	169.9	153.6	201.7
	厨芥（未使用食品）	6.1	4.1	13.6	9.4	6.5	8.5
	厨芥（調理くず、残飯）	207.3	226.1	238.3	160.5	147.1	193.2
	3. 繊維類	23.0	18.0	13.4	29.0	11.3	17.1
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	73.8	52.0	46.0	49.2	35.6	45.8
	プラスチック製容器包装類	35.0	21.9	20.4	20.8	15.8	20.0
	プラスチック製バック・カップ類	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	22.1	18.2	16.4	17.4	12.3	16.0
	ペットボトル（残さ付き）	1.1	1.1	1.2	2.2	0.4	1.1
	白色トレイ（残さ付き）	0.6	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	3.2	3.5	2.4	1.9	2.1	2.5
	レジ袋	9.4	5.3	3.8	4.3	2.9	4.1
	プラスチック製キャップ類	1.5	1.0	0.6	0.9	0.5	0.7
	発泡スチロールの緩衝材	0.5	0.5	0.6	1.1	1.0	0.8
	5. その他可燃物	88.0	88.9	77.9	28.0	49.9	62.8
	プラスチック類その他	26.9	9.4	14.7	5.3	5.2	9.4
	ゴム・皮革	1.1	3.5	4.4	2.3	3.8	3.5
その他可燃物	60.0	76.0	58.8	20.4	40.9	49.9	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	0.1	0.9	0.8	1.3	0.8	1.0
	金属類	0.1	0.4	0.2	0.6	0.3	0.4
	ガラス・陶磁器類			0.1		0.2	0.1
	乾電池		0.2		0.0	0.1	0.1
	充電式乾電池						
	ボタン電池			0.0			0.0
	蛍光灯						
その他不燃物		0.3	0.5	0.7	0.2	0.4	
資 源 物	7. 紙類（資源）	88.4	54.6	42.3	47.9	24.4	42.3
	新聞等	27.1	10.0	4.1	1.5	1.6	4.9
	雑誌	23.1	10.0	7.0	10.9	3.6	7.9
	段ボール	11.4	8.6	5.6	7.2	2.7	5.9
	飲料用紙パック	4.3	2.8	2.8	1.7	0.9	2.1
	紙製容器包装類	22.5	23.2	22.8	26.6	15.6	21.5
	8. 缶類（資源）		0.1	0.1	1.2	0.1	0.3
	スチール缶		0.1	0.1	0.9	0.1	0.2
	アルミ缶				0.3	0.0	0.1
	9. びん類（資源）		0.9	0.7	0.6	0.1	0.5
	リターナブルびん						
ワンウェイびん		0.9	0.7	0.6	0.1	0.5	
10. その他（資源）			0.0	0.0	0.0	0.0	
白色の発泡スチロール製食品用トレイ			0.0	0.0	0.0	0.0	
ペットボトル							
11. その他				1.4		0.3	
合 計	645.5	549.5	543.3	444.8	358.8	475.6	

b. 世帯人数別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-5 世帯人数別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

(g/人, 日)

不燃ごみ							
世帯人数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	
モニター数	12	37	32	17	18	116	
可燃ごみ	1. 紙類	1.4	0.5	0.0	0.6	0.0	0.3
	OA用紙						
	その他紙類		0.5		0.4		0.2
	残さ付き新聞等	1.4	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1
	2. 厨芥類						
	厨芥（未使用食品）						
	厨芥（調理くず、残飯）						
	3. 繊維類			0.1		0.0	0.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	5.3	2.4	4.3	0.7	0.7	2.2
	プラスチック製容器包装類	3.1	0.5	1.6	0.3	0.5	0.9
	プラスチック製パック・カップ類	0.5					0.0
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.4	0.8	0.7	0.0	0.0	0.4
	ペットボトル（残さ付き）			0.6			0.2
	白色トレイ（残さ付き）			0.1			0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.5	0.7	0.6			0.3
レジ袋	0.5	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	
プラスチック製キャップ類	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	
発泡スチロールの緩衝材			0.3		0.0	0.1	
5. その他可燃物	3.1	13.5	5.6	5.6	0.4	5.7	
プラスチック類その他	1.0	7.0	5.6	4.4	0.4	4.0	
ゴム・皮革		5.9		1.1		1.5	
その他可燃物	2.1	0.6	0.0	0.1	0.0	0.2	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ	101.3	22.6	32.1	42.5	53.3	40.6
	金属類	35.2	6.9	15.0	7.2	8.4	10.6
	ガラス・陶磁器類	10.0	4.3	8.6	20.1	24.7	14.6
	乾電池	14.4	1.8	0.2	0.7	0.7	1.3
	充電式乾電池		0.1				0.0
	ボタン電池					0.0	0.0
	蛍光灯	7.9	0.8	0.6	0.7	0.7	0.9
	その他不燃物	33.8	8.7	7.7	13.8	18.8	13.2
資源物	7. 紙類（資源）	2.8	0.5	0.4	0.1	0.2	0.3
	新聞等		0.0		0.1	0.0	0.0
	雑誌						
	段ボール	1.5	0.5	0.2		0.2	0.2
	飲料用紙パック						
	紙製容器包装類	1.3	0.0	0.2		0.0	0.1
	8. 缶類（資源）	3.6	3.2	2.5	1.4	1.3	2.2
	スチール缶	3.6	3.1	2.1	1.3	1.3	2.0
	アルミ缶		0.1	0.4	0.1		0.2
	9. びん類（資源）	4.7	5.5	7.3	3.1	3.0	4.8
	リターナブルびん						
	ワンウェイびん	4.7	5.5	7.3	3.1	3.0	4.8
	10. その他（資源）			0.2			0.0
白色の発泡スチロール製食品用トレイ							
ペットボトル			0.2			0.0	
11. その他		16.5		2.3		3.9	
合計	122.2	64.7	52.5	56.3	58.9	60.0	

c. 世帯人数別不用物発生原単位詳細（資源物）

図表 2-6 世帯人数別不用物発生原単位詳細（資源物）

(g/人, 日)

資源物							
世帯人数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	
モニター数	12	37	32	17	18	116	
可燃ごみ	1. 紙類	16.6	4.1	2.3	0.0	1.8	2.6
	OA用紙	15.7	3.7	1.7	0.0	1.5	2.2
	その他紙類	0.9	0.4			0.3	0.2
	残さ付き新聞等			0.6			0.2
	2. 厨芥類						
	厨芥（未使用食品）						
	厨芥（調理くず、残飯）						
	3. 繊維類			4.2		0.0	1.2
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	8.3	1.3	2.8	3.5	1.5	2.4
	プラスチック製容器包装類	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	プラスチック製パック・カップ類	2.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	1.7	0.2	0.0	0.2	0.0	0.1
	ペットボトル（残さ付き）	3.3	0.5	2.1	2.5	1.0	1.6
	白色トレイ（残さ付き）	0.1	0.0	0.1			0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.4			0.2	0.1	0.1
	レジ袋	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.3	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1
	発泡スチロールの緩衝材		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	5. その他可燃物	0.2	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1
プラスチック類その他	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	
ゴム・皮革							
その他可燃物		0.0	0.1		0.0	0.0	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ	8.6	9.4	1.0	1.9	1.0	3.1
	金属類	7.9	7.9	0.8	0.4	0.8	2.5
	ガラス・陶磁器類		1.2				0.2
	乾電池		0.3		1.4		0.3
	充電式乾電池						
	ボタン電池						
	蛍光灯						
その他不燃物	0.7		0.2	0.1	0.2	0.1	
資源物	7. 紙類（資源）	419.8	198.7	142.5	105.8	77.1	137.7
	新聞等	237.3	155.4	95.5	70.5	34.4	90.4
	雑誌	150.9	20.5	20.6	2.9	16.6	20.4
	段ボール	16.7	16.5	21.0	24.9	19.8	20.3
	飲料用紙パック	1.4	1.8	1.0	1.9	2.5	1.8
	紙製容器包装類	13.5	4.5	4.4	5.6	3.8	4.8
	8. 缶類（資源）	26.8	13.3	12.9	18.0	11.2	13.9
	スチール缶	23.2	8.0	5.9	5.8	6.2	7.0
	アルミ缶	3.6	5.3	7.0	12.2	5.0	6.9
	9. びん類（資源）	49.7	39.4	35.9	35.7	19.5	32.3
	リターナブルびん		3.0	6.3	3.6	1.7	3.5
	ワンウェイびん	49.7	36.4	29.6	32.1	17.8	28.8
	10. その他（資源）	13.8	9.3	14.2	17.9	7.9	12.0
白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.9	0.9	0.7	0.9	0.8	0.8	
ペットボトル	12.9	8.4	13.5	17.0	7.1	11.2	
11. その他							
合計	543.8	275.8	215.9	182.8	120.0	205.3	

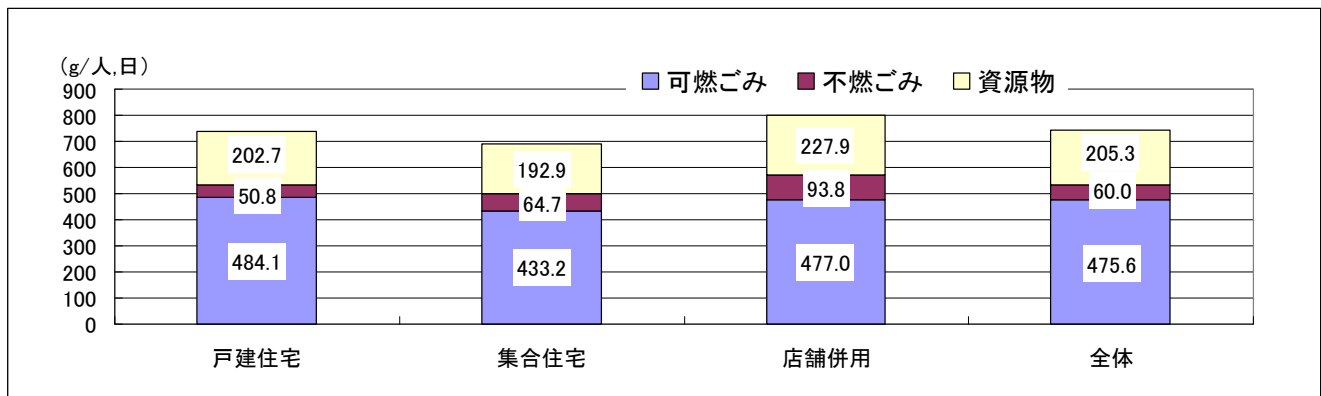
B. 住居形態別の不用物発生状況

住居形態別に見ると、その他の住居形態に比べ店舗併用からの発生量が最も多く、合計で798.7gとなっている。この結果は家庭ごみと事業系ごみが混合している可能性があると考えられ、さらに、不燃ごみ及び資源物の発生量も多い。また、集合住宅の発生量は合計で690.8gと最も少なかった。

図表 2-7 住居形態別不用物発生原単位

住居形態		戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数		82	17	18	116
1	可燃ごみ	484.1	433.2	477.0	475.6
2	不燃ごみ	50.8	64.7	93.8	60.0
3	資源物	202.7	192.9	227.9	205.3
合計		737.6	690.8	798.7	740.9

(g/人, 日)



a. 住居形態別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-8 住居形態別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

(g/人, 日)

可 燃 ご み					
住居形態		戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数		82	17	18	116
可 燃 ご み	1. 紙類	95.2	110.7	133.0	103.8
	OA用紙	6.5	4.9	13.3	7.4
	その他紙類	80.1	98.5	93.2	85.0
	残さ付き新聞等	8.6	7.3	26.5	11.4
	2. 厨芥類	215.1	165.5	178.2	201.7
	厨芥（未使用食品）	8.5	11.9	5.4	8.5
	厨芥（調理くず、残飯）	206.6	153.6	172.8	193.2
	3. 繊維類	15.0	35.2	10.1	17.1
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	46.8	34.4	51.4	45.8
	プラスチック製容器包装類	20.5	15.0	22.1	20.0
	プラスチック製パック・カップ類	0.3	0.4	0.4	0.3
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	17.1	10.1	16.6	16.0
	ペットボトル（残さ付き）	0.7	0.6	3.3	1.1
	白色トレイ（残さ付き）	0.2	0.5	0.2	0.3
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	2.7	1.9	2.1	2.5
	レジ袋	3.9	4.6	4.6	4.1
	プラスチック製キャップ類	0.8	0.5	0.6	0.7
発泡スチロールの緩衝材	0.6	0.8	1.5	0.8	
5. その他可燃物	72.5	51.4	33.2	62.8	
プラスチック類その他	10.2	7.5	7.9	9.4	
ゴム・皮革	3.5	5.3	2.3	3.5	
その他可燃物	58.8	38.6	23.0	49.9	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	1.0	0.7	0.5	1.0
	金属類	0.4	0.3	0.3	0.4
	ガラス・陶磁器類	0.0	0.3		0.1
	乾電池	0.1		0.1	0.1
	充電式乾電池				
	ボタン電池	0.0			0.0
	蛍光灯				
その他不燃物	0.5	0.1	0.1	0.4	
資 源 物	7. 紙類（資源）	37.7	35.3	67.8	42.3
	新聞等	3.4	8.9	7.6	4.9
	雑誌	6.7	5.0	15.6	7.9
	段ボール	4.4	3.4	14.3	5.9
	飲料用紙パック	2.0	2.1	2.3	2.1
	紙製容器包装類	21.2	15.9	28.0	21.5
	8. 缶類（資源）	0.1	0.0	1.0	0.3
	スチール缶	0.1		0.8	0.2
	アルミ缶	0.0	0.0	0.2	0.1
	9. びん類（資源）	0.7		0.2	0.5
	リターナブルびん				
ワンウェイびん	0.7		0.2	0.5	
10. その他（資源）	0.0	0.0		0.0	
白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.0	0.0		0.0	
ペットボトル					
11. その他			1.6	0.3	
合 計		484.1	433.2	477.0	475.6

b. 住居形態別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-9 住居形態別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

(g/人, 日)

不燃ごみ					
住居形態		戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数		82	17	18	116
可燃ごみ	1. 紙類	0.1	0.7	0.4	0.3
	○A用紙				
	その他紙類	0.0	0.5	0.4	0.2
	残さ付き新聞等	0.1	0.2	0.0	0.1
	2. 厨芥類				
	厨芥（未使用食品）				
	厨芥（調理くず、残飯）				
	3. 繊維類	0.0		0.0	0.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	0.8	7.1	3.6	2.2
	プラスチック製容器包装類	0.2	3.5	1.2	0.9
	プラスチック製パック・カップ類		0.1		0.0
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.0	1.2	1.1	0.4
	ペットボトル（残さ付き）		1.2		0.2
	白色トレイ（残さ付き）		0.1		0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.3	0.5	0.4	0.3
	レジ袋	0.2	0.2	0.4	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.1	0.2	0.1	0.1
発泡スチロールの緩衝材	0.0	0.1	0.4	0.1	
5. その他可燃物	4.1	6.3	11.6	5.7	
プラスチック類その他	2.7	6.3	7.2	4.0	
ゴム・皮革	1.2		3.9	1.5	
その他可燃物	0.2	0.0	0.5	0.2	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ	36.8	44.8	52.3	40.6
	金属類	9.9	14.5	9.9	10.6
	ガラス・陶磁器類	9.8	24.0	26.2	14.6
	乾電池	1.5	0.1	1.3	1.3
	充電式乾電池	0.0			0.0
	ボタン電池			0.0	0.0
	蛍光灯	1.2	0.5	0.1	0.9
	その他不燃物	14.4	5.7	14.8	13.2
資源物	7. 紙類（資源）	0.5	0.6	0.0	0.3
	新聞等	0.1			0.0
	雑誌				
	段ボール	0.4			0.2
	飲料用紙パック				
	紙製容器包装類	0.0	0.6	0.0	0.1
	8. 缶類（資源）	1.6	1.2	5.1	2.2
	スチール缶	1.4	1.1	4.9	2.0
	アルミ缶	0.2	0.1	0.2	0.2
	9. びん類（資源）	5.0	3.7	5.1	4.8
	リターナブルびん				
ワンウェイびん	5.0	3.7	5.1	4.8	
10. その他（資源）		0.3		0.0	
白色の発泡スチロール製食品用トレイ					
ペットボトル		0.3		0.0	
11. その他		1.9		15.7	3.9
合計		50.8	64.7	93.8	60.0

c. 住居形態別不用物発生原単位詳細（資源物）

図表 2-10 住居形態別不用物発生原単位詳細（資源物）

(g/人, 日)

資源物					
住居形態		戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数		82	17	18	116
可燃ごみ	1. 紙類	2.9	2.4	1.2	2.6
	OA用紙	2.5	1.8	1.2	2.2
	その他紙類	0.2	0.6	0.0	0.2
	残さ付き新聞等	0.2			0.2
	2. 厨芥類				
	厨芥（未使用食品）				
	厨芥（調理くず、残飯）				
	3. 繊維類		7.9	0.1	1.2
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	2.8	0.9	2.2	2.4
	プラスチック製容器包装類	0.1	0.0	0.0	0.1
	プラスチック製パック・カップ類	0.3	0.1	0.1	0.2
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.1	0.2	0.1	0.1
	ペットボトル（残さ付き）	1.8	0.6	1.5	1.6
	白色トレイ（残さ付き）	0.0		0.1	0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.1		0.2	0.1
	レジ袋	0.2		0.1	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.1		0.1	0.1
	発泡スチロールの緩衝材	0.1			0.0
	5. その他可燃物	0.1	0.2	0.1	0.1
プラスチック類その他	0.1	0.0	0.1	0.1	
ゴム・皮革					
その他可燃物	0.0	0.2		0.0	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ	4.1	1.3	1.1	3.1
	金属類	3.0	1.2	1.1	2.5
	ガラス・陶磁器類	0.4			0.2
	乾電池	0.5			0.3
	充電式乾電池				
	ボタン電池				
	蛍光灯				
その他不燃物	0.2	0.1		0.1	
資源物	7. 紙類（資源）	133.7	139.7	152.9	137.7
	新聞等	89.9	97.3	86.5	90.4
	雑誌	13.1	30.5	42.0	20.4
	段ボール	23.9	7.0	17.2	20.3
	飲料用紙パック	1.7	2.3	1.7	1.8
	紙製容器包装類	5.1	2.6	5.5	4.8
	8. 缶類（資源）	14.4	11.0	14.3	13.9
	スチール缶	7.6	5.0	6.1	7.0
	アルミ缶	6.8	6.0	8.2	6.9
	9. びん類（資源）	32.4	20.3	42.5	32.3
	リターナブルびん	3.6	6.7	0.7	3.5
ワンウェイびん	28.8	13.6	41.8	28.8	
10. その他（資源）	12.3	9.2	13.5	12.0	
白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.9	0.6	0.6	0.8	
ペットボトル	11.4	8.6	12.9	11.2	
11. その他					
合計		202.7	192.9	227.9	205.3

C. クラスタ分類による地域別の不用物発生状況

クラスタ分類による地域別に見ると、クラスタ1（住居が多く人口密度が高く、高齢者も多い地域）からの発生量が最も多く、合計で832.0gとなっている。これは、店舗併用型の住居が多い地域でもあるためだと考えられる。

クラスタ2（中高層住宅が多く、高齢者が少ない地域）に関しては、すべての不用物で排出量が最も少なかった。

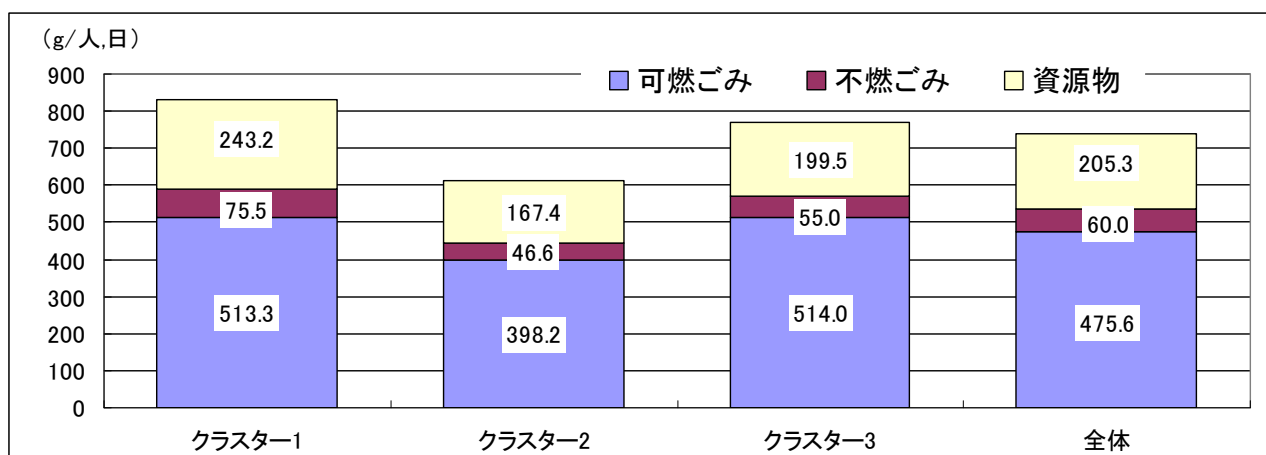
図表 2-11 クラスタ別不用物発生原単位

クラスタ別		(g/人, 日)			
クラスタ別		クラスタ1	クラスタ2	クラスタ3	全体
世帯数		46	34	36	116
1	可燃ごみ	513.3	398.2	514.0	475.6
2	不燃ごみ	75.5	46.6	55.0	60.0
3	資源物	243.2	167.4	199.5	205.3
合計		832.0	612.2	768.5	740.9

クラスタ1:住居が多く人口密度が高く、高齢者も多い地域。

クラスタ2:中高層住宅が多く、高齢者が少ない地域。

クラスタ3:戸建持家が多く、高齢者も多い地域。



a. クラスター別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-12 クラスター別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

(g/人・日)

可 燃 ご み					
クラスター モニター数		クラスター-1 46	クラスター-2 34	クラスター-3 36	全体 116
可 燃 ご み	1. 紙類	113.0	84.3	114.1	103.8
	OA用紙	9.5	5.0	7.6	7.4
	その他紙類	90.5	67.7	97.3	85.0
	残さ付き新聞等	13.0	11.6	9.2	11.4
	2. 厨芥類	213.2	187.1	203.4	201.7
	厨芥（未使用食品）	8.0	5.3	12.8	8.5
	厨芥（調理くず、残飯）	205.2	181.8	190.6	193.2
	3. 繊維類	13.1	6.9	33.7	17.1
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	50.8	39.1	46.7	45.8
	プラスチック製容器包装類	21.0	16.5	22.5	20.0
	プラスチック製パック・カップ類	0.5	0.2	0.3	0.3
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	17.7	14.0	15.8	16.0
	ペットボトル（残さ付き）	1.5	1.5	0.3	1.1
	白色トレイ（残さ付き）	0.3	0.2	0.4	0.3
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	2.8	2.0	2.5	2.5
	レジ袋	5.2	3.3	3.7	4.1
	プラスチック製キャップ類	0.7	0.8	0.7	0.7
	発泡スチロールの緩衝材	1.1	0.6	0.5	0.8
	5. その他可燃物	72.3	42.9	73.1	62.8
プラスチック類その他	7.5	3.8	18.3	9.4	
ゴム・皮革	4.8	1.5	4.2	3.5	
その他可燃物	60.0	37.6	50.6	49.9	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	0.9	0.7	1.1	1.0
	金属類	0.5	0.3	0.3	0.4
	ガラス・陶磁器類	0.1		0.1	0.1
	乾電池	0.1		0.1	0.1
	充電式乾電池				
	ボタン電池	0.0			0.0
	蛍光灯				
その他不燃物	0.2	0.4	0.6	0.4	
資 源 物	7. 紙類（資源）	48.4	36.8	41.0	42.3
	新聞等	7.0	1.6	5.8	4.9
	雑誌	9.9	6.9	6.5	7.9
	段ボール	8.4	5.1	3.7	5.9
	飲料用紙パック	2.0	1.9	2.5	2.1
	紙製容器包装類	21.1	21.3	22.5	21.5
	8. 缶類（資源）	0.5	0.2		0.3
	スチール缶	0.4	0.2		0.2
	アルミ缶	0.1			0.1
	9. びん類（資源）	0.4	0.2	0.9	0.5
	リターナブルびん				
	ワンウェイびん	0.4	0.2	0.9	0.5
	10. その他（資源）	0.0	0.0	0.0	0.0
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.0	0.0	0.0	0.0
ペットボトル					
11. その他	0.7			0.3	
合 計		513.3	398.2	514.0	475.6

b. クラスター別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-13 クラスター別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

(g/人, 日)

不燃ごみ					
クラスター		クラスター1	クラスター2	クラスター3	全体
モニター数		46	34	36	116
可燃ごみ	1. 紙類	0.7	0.1	0.0	0.3
	OA用紙				
	その他紙類	0.5	0.0		0.2
	残さ付き新聞等	0.2	0.1	0.0	0.1
	2. 厨芥類				
	厨芥（未使用食品）				
	厨芥（調理くず、残飯）				
	3. 繊維類			0.1	0.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	4.2	0.9	0.8	2.2
	プラスチック製容器包装類	1.9	0.3	0.2	0.9
	プラスチック製パック・カップ類	0.0			0.0
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.9	0.1	0.0	0.4
	ペットボトル（残さ付き）	0.4			0.2
	白色トレイ（残さ付き）	0.0			0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.5	0.1	0.3	0.3
	レジ袋	0.3	0.2	0.2	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.2	0.0	0.1	0.1
	発泡スチロールの緩衝材	0.0	0.2		0.1
	5. その他可燃物	10.9	0.8	4.4	5.7
プラスチック類その他	7.0	0.2	4.4	4.0	
ゴム・皮革	3.3	0.6		1.5	
その他可燃物	0.6	0.0		0.2	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ	43.1	36.9	41.5	40.6
	金属類	10.9	8.3	12.7	10.6
	ガラス・陶磁器類	12.9	19.5	11.3	14.6
	乾電池	2.2	0.9	0.5	1.3
	充電式乾電池			0.1	0.0
	ボタン電池			0.0	0.0
	蛍光灯	1.0	0.6	1.2	0.9
	その他不燃物	16.1	7.6	15.7	13.2
資源物	7. 紙類（資源）	0.2	0.3	0.6	0.3
	新聞等		0.1	0.0	0.0
	雑誌				
	段ボール	0.0	0.2	0.6	0.2
	飲料用紙パック				
	紙製容器包装類	0.2		0.0	0.1
	8. 缶類（資源）	2.6	3.1	0.5	2.2
	スチール缶	2.5	2.7	0.5	2.0
	アルミ缶	0.1	0.4		0.2
	9. びん類（資源）	6.7	4.5	2.7	4.8
	リターナブルびん				
	ワンウェイびん	6.7	4.5	2.7	4.8
	10. その他（資源）	0.1			0.0
白色の発泡スチロール製食品用トレイ					
ペットボトル	0.1			0.0	
11. その他	7.0		4.4	3.9	
合計		75.5	46.6	55.0	60.0

c. クラスター別不用物発生原単位詳細（資源）

図表 2-14 クラスター別不用物発生原単位詳細（資源）

(g/人, 日)

資源物					
クラスター モニター数		クラスター1 46	クラスター2 34	クラスター3 36	全体 116
可燃ごみ	1. 紙類	3.1	1.0	3.6	2.6
	OA用紙	2.8	0.5	3.3	2.2
	その他紙類	0.3	0.0	0.3	0.2
	残さ付き新聞等		0.5		0.2
	2. 厨芥類				
	厨芥（未使用食品）				
	厨芥（調理くず、残飯）				
	3. 繊維類	3.0		0.0	1.2
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	2.5	0.5	0.6	2.4
	プラスチック製容器包装類	0.0	0.1	0.1	0.1
	プラスチック製パック・カップ類	0.4	0.1	0.1	0.2
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.3	0.0	0.1	0.1
	ペットボトル（残さ付き）	1.2			1.6
	白色トレイ（残さ付き）	0.1			0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.1	0.1	0.0	0.1
	レジ袋	0.2	0.1	0.2	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.1	0.1	0.1	0.1
	発泡スチロールの緩衝材	0.1	0.0	0.0	0.0
	5. その他可燃物	0.3	0.0	0.1	0.1
プラスチック類その他	0.2	0.0	0.1	0.1	
ゴム・皮革					
その他可燃物	0.1	0.0	0.0	0.0	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ	2.5	0.7	6.7	3.1
	金属類	2.3	0.7	4.6	2.5
	ガラス・陶磁器類			0.8	0.2
	乾電池			1.1	0.3
	充電式乾電池				
	ボタン電池				
	蛍光灯				
その他不燃物	0.2		0.2	0.1	
資源物	7. 紙類（資源）	168.1	109.1	130.8	137.7
	新聞等	118.3	78.9	67.3	90.4
	雑誌	22.5	6.6	33.4	20.4
	段ボール	17.8	20.1	23.8	20.3
	飲料用紙パック	2.4	1.3	1.6	1.8
	紙製容器包装類	7.1	2.2	4.7	4.8
	8. 缶類（資源）	16.0	14.8	10.4	13.9
	スチール缶	8.9	6.7	4.9	7.0
	アルミ缶	7.1	8.1	5.5	6.9
	9. びん類（資源）	36.4	28.0	31.8	32.3
	リターナブルびん	0.3	4.4	6.7	3.5
ワンウェイびん	36.1	23.6	25.1	28.8	
10. その他（資源）	11.3	13.3	15.5	12.0	
白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.8	0.7	1.0	0.8	
ペットボトル	10.5	12.6	14.5	11.2	
11. その他					
合計		243.2	167.4	199.5	205.3

③家庭ごみ組成分析結果

A. 可燃ごみ

a. 可燃ごみの組成割合

可燃ごみの組成割合をみると、全体では厨芥類が42.4%と最も高く、次いで、紙類が21.9%、その他の可燃物が13.2%であった。

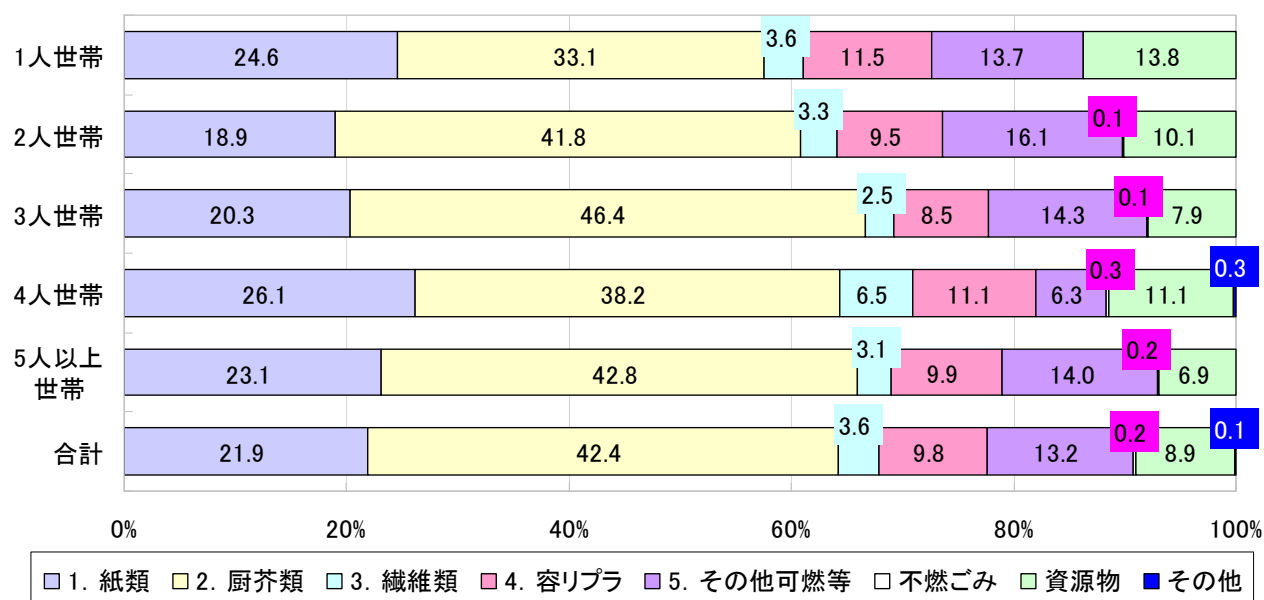
世帯人数別に見ると、すべての世帯において厨芥類の割合が最も高く、33.1～46.4%を占め、次いで紙類が18.9～26.1%となっていた。

図表 2-15 可燃ごみの大分類による組成割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人、日)
可燃ごみ	86.5	89.6	92.0	88.2	92.9	90.9	431.2
1. 紙類	24.6	18.9	20.3	26.1	23.1	21.9	103.8
2. 厨芥類	33.1	41.8	46.4	38.2	42.8	42.4	201.7
3. 繊維類	3.6	3.3	2.5	6.5	3.1	3.6	17.1
4. 容リプラ	11.5	9.5	8.5	11.1	9.9	9.8	45.8
5. その他可燃等	13.7	16.1	14.3	6.3	14.0	13.2	62.8
不燃ごみ	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	1.0
資源物	13.8	10.1	7.9	11.1	6.9	8.9	43.1
その他				0.3		0.1	0.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	475.6

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



b. 可燃ごみに含まれている資源物の混入割合

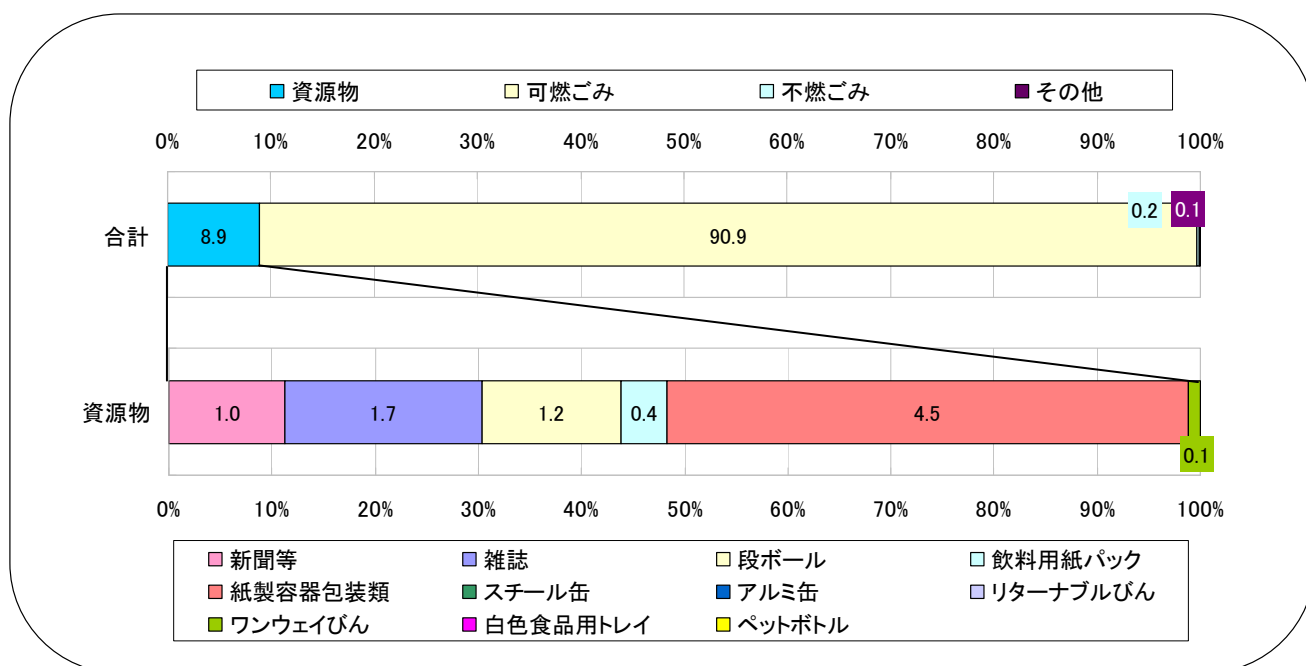
可燃ごみに含まれている、資源物の混入割合をみると、全体で8.9%混入しており、混入物では紙製容器包装類が4.5%と最も高かった。

世帯人数別に見ると、資源物の混入が最も高いのは1人世帯の13.8%で最も低いのは5人以上世帯の6.9%であった。

図表 2-16 可燃ごみに含まれている資源物の混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人, 日)
資源物	13.8	10.1	7.9	11.1	6.9	8.9	43.1
新聞等	4.2	1.8	0.8	0.3	0.4	1.0	4.9
雑誌	3.6	1.8	1.3	2.4	1.0	1.7	7.9
段ボール	1.8	1.6	1.0	1.6	0.8	1.2	5.9
飲料用紙パック	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	0.4	2.1
紙製容器包装類	3.5	4.2	4.2	6.0	4.4	4.5	21.5
スチール缶		0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2
アルミ缶				0.1	0.0	0.0	0.1
リターナブルびん							
ワンウェイびん		0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.5
白色食品用トレイ			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペットボトル							
可燃ごみ	86.5	89.6	92.0	88.2	92.9	90.9	431.2
不燃ごみ	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	1.0
その他				0.3		0.1	0.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	475.6



B. 不燃ごみ

a. 不燃ごみに含まれている可燃ごみの混入割合

不燃ごみに含まれている可燃ごみ等の混入割合をみると、全体では可燃物が13.5%混入していた。

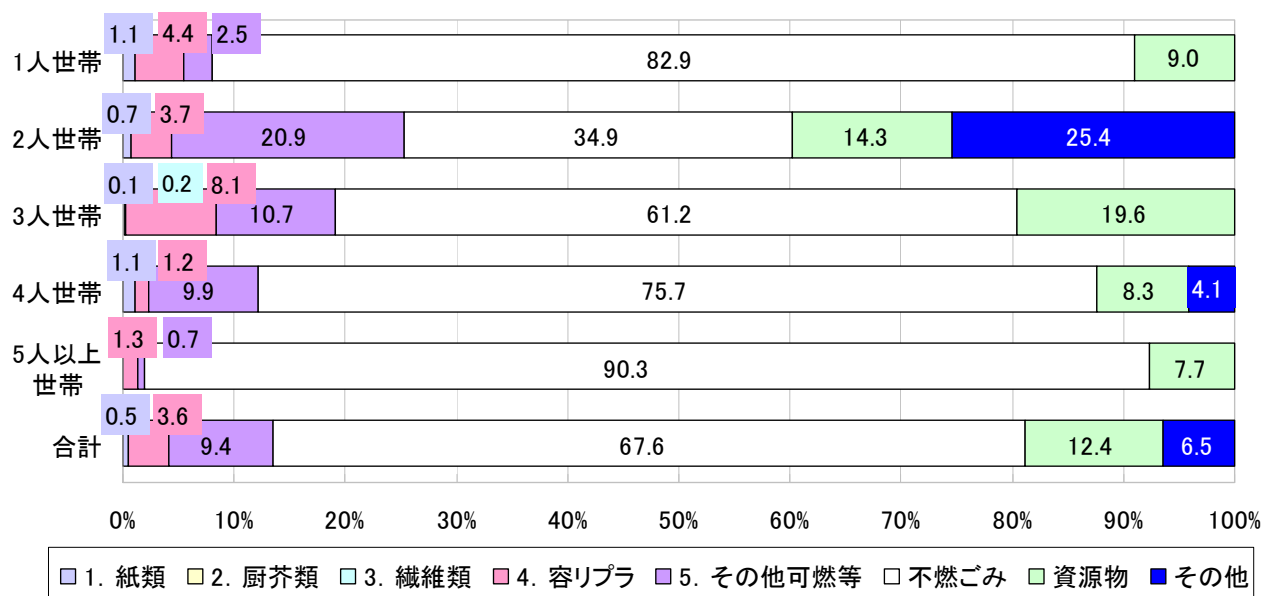
世帯人数別にみると、可燃ごみの混入割合は2人世帯で25.3%、次いで3人世帯では19.1%であった。

図表 2-17 不燃ごみへの可燃ごみ等の混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人, 日)
可燃ごみ	8.0	25.3	19.1	12.2	2.0	13.5	8.2
1. 紙類	1.1	0.7	0.1	1.1	0.0	0.5	0.3
2. 厨芥類							
3. 繊維類			0.2		0.0	0.0	0.0
4. 容リプラ	4.4	3.7	8.1	1.2	1.3	3.6	2.2
5. その他可燃等	2.5	20.9	10.7	9.9	0.7	9.4	5.7
不燃ごみ	82.9	34.9	61.2	75.7	90.3	67.6	40.6
資源物	9.0	14.3	19.6	8.3	7.7	12.4	7.3
その他		25.4		4.1		6.5	3.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	60.0

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



b. 不燃ごみに含まれている資源物の混入割合

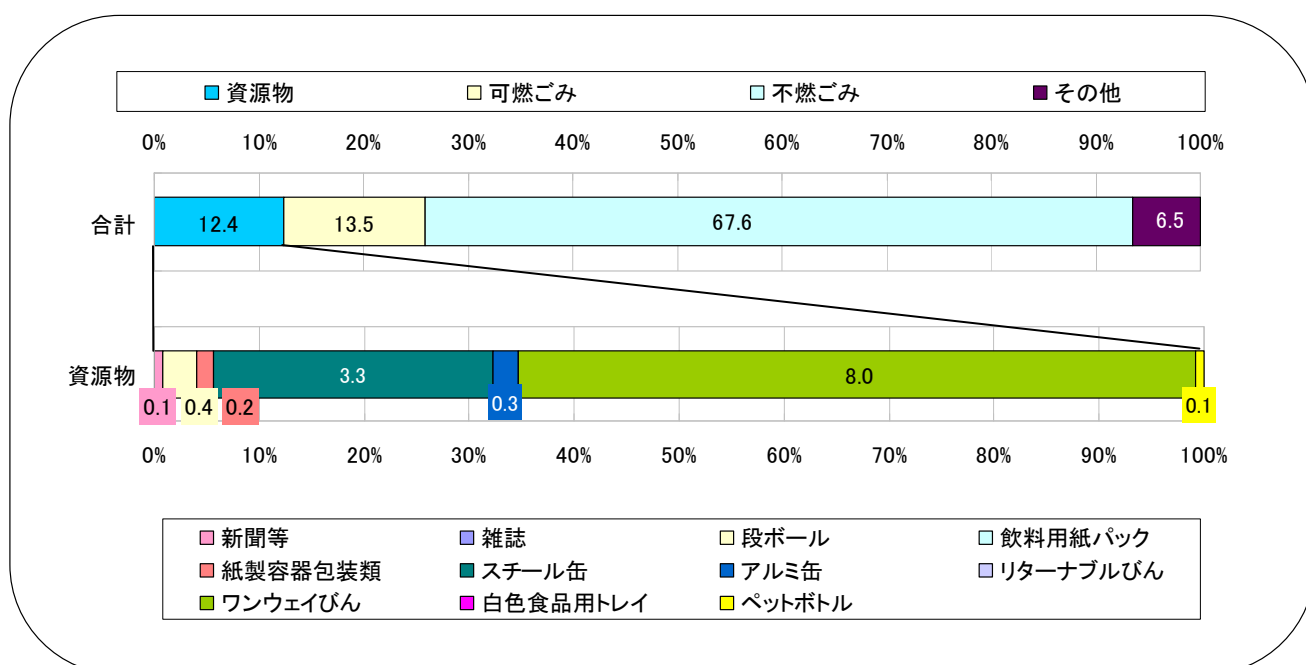
不燃ごみに含まれている、資源物の混入割合をみると、全体で12.4%であり、混入されている資源物で最も多いのはワンウェイびんの8.0%であった。

世帯人数別に見ると、資源物の混入が最も高いのは3人世帯の19.6%であり、次いで2人世帯の14.3%であった。

図表 2-18 不燃ごみへの資源物混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人, 日)
資源物	9.0	14.3	19.6	8.3	7.7	12.4	7.3
新聞等		0.0		0.3	0.1	0.1	0.0
雑誌							
段ボール	1.2	0.8	0.3		0.3	0.4	0.2
飲料用紙パック							
紙製容器包装類	1.0	0.0	0.3		0.0	0.2	0.1
スチール缶	3.0	4.8	3.9	2.3	2.2	3.3	2.0
アルミ缶		0.2	0.8	0.2		0.3	0.2
リターナブルびん							
ワンウェイびん	3.8	8.5	14.0	5.5	5.1	8.0	4.8
白色食品用トレイ							
ペットボトル			0.3			0.1	0.0
可燃ごみ	8.0	25.3	19.1	12.2	2.0	13.5	8.2
不燃ごみ	82.9	34.9	61.2	75.7	90.3	67.6	40.6
その他		25.4		4.1		6.5	3.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	60.0



C. 資源物

a. 資源物に含まれている可燃ごみ等の混入割合

資源物に含まれている可燃ごみ等の混入割合をみると、全体では可燃ごみが3.0%、不燃ごみは1.6%の混入がみられた。

世帯人数別にみると、可燃ごみの混入は、1人世帯で4.6%、次いで3人世帯で4.2%であり、さらに、不燃ごみの混入は3人世帯で3.4%と最も高かった。

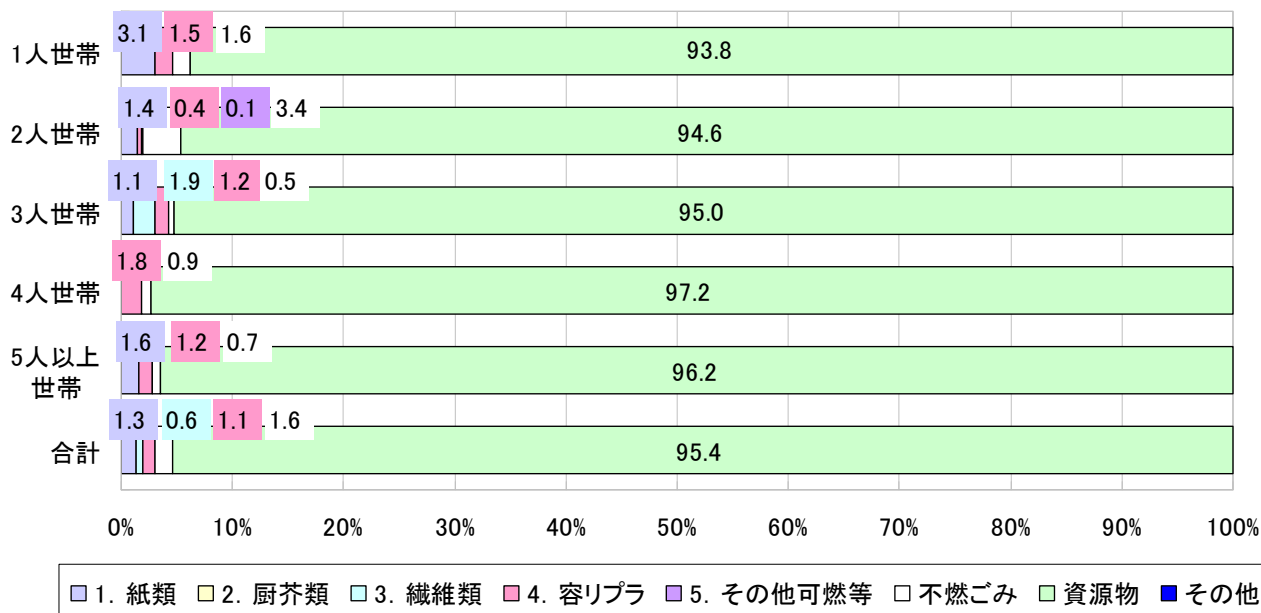
資源物として排出された95.4%の資源はしっかりと分別が行われており、資源としての質も高いものであった。これは、集団回収の効果により分別方法の周知徹底がなされているものと考えられる。

図表 2-19 資源物に含まれる可燃ごみ等の混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人、日)
可燃ごみ	4.6	1.9	4.2	1.8	2.8	3.0	6.3
1. 紙類	3.1	1.4	1.1	0.0	1.6	1.3	2.6
2. 厨芥類							
3. 繊維類			1.9		0.0	0.6	1.2
4. 容リプラ	1.5	0.4	1.2	1.8	1.2	1.1	2.4
5. その他可燃等	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
不燃ごみ	1.6	3.4	0.5	0.9	0.7	1.6	3.1
資源物	93.8	94.6	95.0	97.2	96.2	95.4	195.9
その他							
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	205.3

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



2-2 事業系ごみ排出実態調査

(1) 調査の目的

事業所から発生する不用物（一般廃棄物）は、処理形態がさまざまなため、発生量や処理フローの把握は通常の統計処理では困難である。

現在、環境問題に対する企業の関心や社会の要望が高まりつつあるが、規模の小さな事業所においては、事業所数は多いものの、こうした取り組みの実態は明らかになっていない。

そこで本調査では、事業所、特に従業員数 20 人未満の事業所から発生する不用物の量と流れを把握するとともに、事業者のごみ減量やリサイクルへの取り組みや意識を把握することを目的として実施した。

(2) 調査時期

平成 22 年 6 月 29 日（火）～7 月 6 日（火）までの 8 日間とした。

(3) 調査対象事業所（調査協力事業所 112 件）

荒川区内の町別に約 20 事業所に対し、平成 18 年度の産業割合※¹に合わせた事業所割合に準じて、調査協力の依頼を行った。

(4) 調査方法

① 排出物の組成分類調査

- ・ 調査協力事業所（モニター）に、事前に配布した袋へ、調査期間中、日ごとに排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源物を、出入り口等の回収場所へ出してもらおう。
- ・ サンプルを回収し、組成調査場所へ運搬、組成分類、計量、集計。

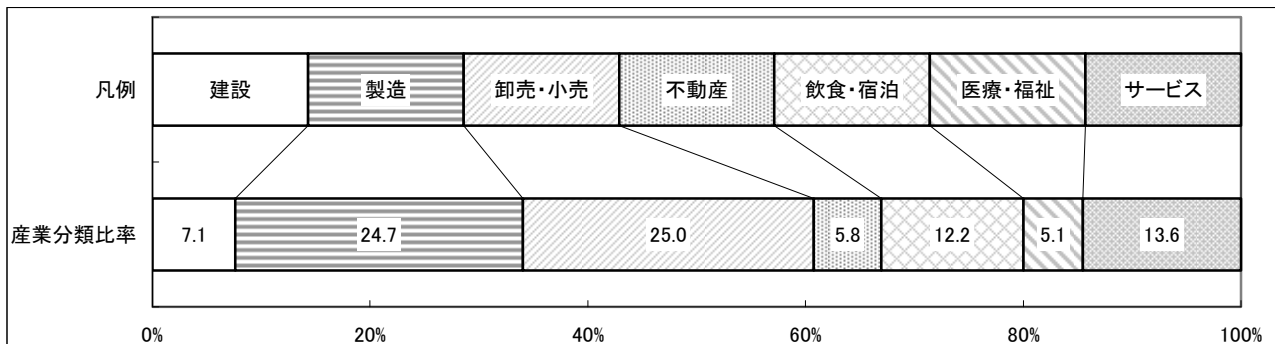
② アンケート調査

- ・ 調査開始当初に、調査協力事業所（モニター）にアンケート用紙を配布し、記入依頼をした。（業種、従業員数、業務内容及びごみ、資源物の処理、ごみ減量・リサイクルへの意識調査、及び通常の排出方法や取り組みについての質問）
- ・ 記入済み調査票の回収、集計。

(5) 調査内容

排出物の組成分類調査は、回収したサンプルを組成分類項目ごとに分類し、重量計測、記録、集計する。

※¹：荒川区の産業割合（東京都総務局「平成 18 年事業所・企業統計調査」参照）



(6) 調査結果概要

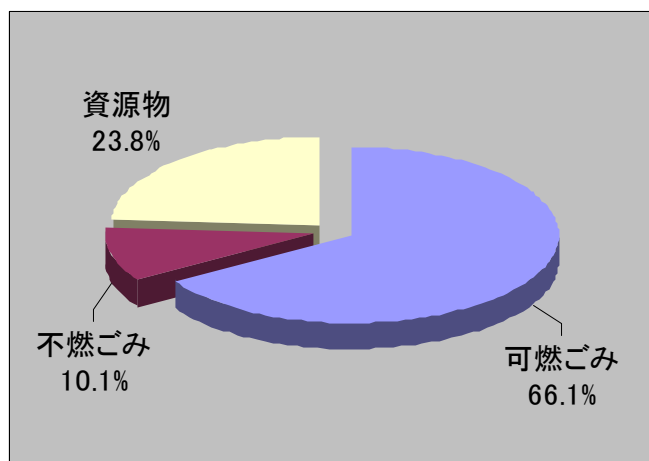
① 不用物の発生量結果（実態調査協力 112 事業所）

今回の調査では日曜を除く 8 日間毎日排出物のサンプルを回収し、組成分類しそのデータを集計した。

20 人未満の事業所から発生するすべての不用物の量は 1 事業所 1 日あたり 3,326.7g であり、そのうち可燃ごみが 2,199.7g (66.1%)、不燃ごみが 334.7g (10.1%)、資源物が 792.3g (23.8%) となっている。

図表 2-35 事業所からの不用物発生量

	発生量 (g/事業所, 日)	構成比 (%)
可燃ごみ	2,199.7	66.1
不燃ごみ	334.7	10.1
資源物	792.3	23.8
合計	3,326.7	100.0



② 属性別発生原単位結果

A. 業種別の不用物発生状況

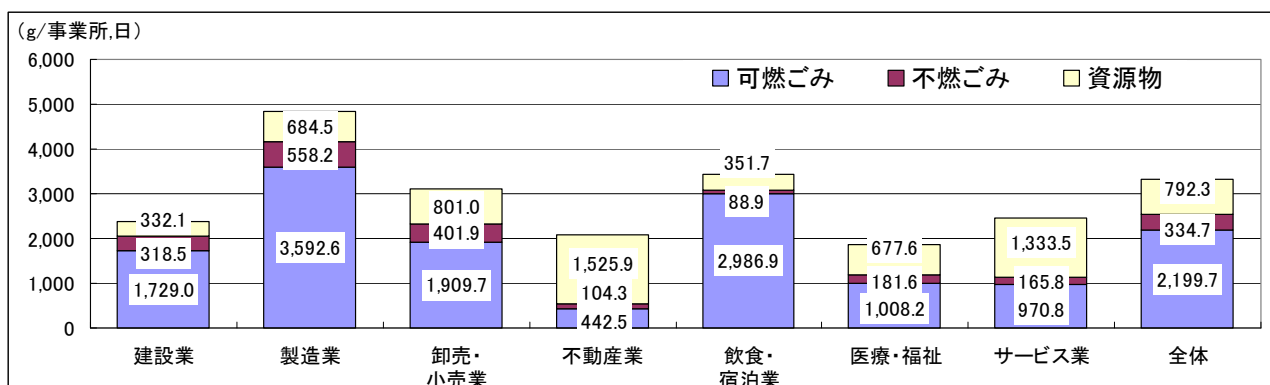
業種別では、全体で（1 事業所 1 日あたり）発生量が最も多いのは製造業の 4,835.3g、次いで飲食・宿泊業が 3,427.5g、卸売・小売業が 3,112.6g となっている。

発生区分別では、可燃ごみの発生が多いのは、製造業 3592.6g、次いで飲食・宿泊業 2986.9g であり、資源物の発生が多いのは不動産業 1525.9g、次いでサービス業 1333.5g であった。

図表 2-36 業種別事業所あたり不用物発生量

(g/事業所, 日)

業種	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体
モニター数	7	29	33	6	14	7	16	112
1 可燃ごみ	1,729.0	3,592.6	1,909.7	442.5	2,986.9	1,008.2	970.8	2,199.7
2 不燃ごみ	318.5	558.2	401.9	104.3	88.9	181.6	165.8	334.7
3 資源物	332.1	684.5	801.0	1,525.9	351.7	677.6	1,333.5	792.3
合計	2,379.6	4,835.3	3,112.6	2,072.7	3,427.5	1,867.4	2,470.1	3,326.7



a. 業種別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-37 業種別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

(g/事業所、日)

可 燃 ご み									
産業分類	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業	全体	
モニター数	7	29	33	6	14	7	16	112	
可 燃 ご み	1. 紙類	1403.2	2221.7	219.2	116.8	198.7	421.9	335.7	833.0
	OA用紙	209.8	229.2	72.6	87.4	2.9	124.2	43.8	112.9
	その他紙類	1190.4	1975.3	113.9	28.8	125.8	274.5	159.8	676.7
	残さ付き新聞等	3.0	17.2	32.7	0.6	70.0	23.2	132.1	43.4
	2. 厨芥類	75.7	296.2	650.1	35.4	2514.4	137.0	299.1	640.5
	厨芥（未使用食品）		0.3	28.4		9.7	26.3		11.3
	厨芥（調理くず、残飯）	75.7	295.9	621.7	35.4	2504.7	110.7	299.1	629.2
	3. 繊維類	4.6	100.0	13.5	2.1	27.7	3.6	35.7	39.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	19.7	445.0	141.9	47.6	138.7	104.3	117.3	201.4
	プラスチック製容器包装類	9.9	396.7	97.9	15.5	72.9	47.6	48.0	152.0
	プラスチック製パック・カップ類		0.1	0.1		0.1		0.3	0.1
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	3.4	18.9	29.6	23.0	42.6	29.6	23.4	25.6
	ペットボトル（残さ付き）		6.7	1.8	2.5	4.3	6.4	2.3	3.6
	白色トレイ（残さ付き）		0.1	0.2		1.2	0.2		0.2
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.9	5.2	3.1	0.6	4.0	9.1	4.1	4.0
レジ袋	3.3	4.0	3.8	5.3	10.0	8.5	6.0	5.3	
プラスチック製キャップ類		0.8	0.8	0.4	0.5	0.8	0.7	0.7	
発泡スチロールの緩衝材	2.2	12.5	4.6	0.3	3.1	2.1	32.5	9.9	
5. その他可燃物	168.4	393.6	671.8	29.4	65.0	120.4	96.6	341.3	
プラスチック類その他	127.7	152.5	71.6	7.0	5.2	16.7	7.9	71.7	
ゴム・皮革	7.3	176.5	20.1			4.5	0.9	52.5	
その他可燃物	33.4	64.6	580.1	22.4	59.8	99.2	87.8	217.1	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	2.2	6.4	1.0	0.8	0.6	0.4	1.7	2.4
	金属類	0.2	2.7	0.8	0.8	0.6	0.4	1.6	1.3
	ガラス・陶磁器類		0.0						0.0
	乾電池		0.3						0.1
	充電式乾電池		1.3						0.3
	ボタン電池		2.0						0.5
	蛍光灯								
その他不燃物	2.0	0.1	0.2				0.1	0.2	
資 源 物	7. 紙類（資源）	55.2	129.3	211.6	210.4	40.0	220.6	84.7	141.5
	新聞等	4.8	23.6	63.8	3.1	1.1	30.4	11.3	29.0
	雑誌	5.2	15.1	26.0	169.8	3.3	26.4	12.5	24.8
	段ボール	4.1	16.7	64.6	16.5	12.2	31.8	16.4	30.4
	飲料用紙パック	0.9	2.0	1.9	1.9	2.1	3.8	5.0	2.5
	紙製容器包装類	40.2	71.9	55.3	19.1	21.3	128.2	39.5	54.8
	8. 缶類（資源）		0.1	0.6		0.5			0.3
	スチール缶			0.4		0.5			0.2
	アルミ缶		0.1	0.2					0.1
	9. びん類（資源）								
リターナブルびん									
ワンウェイびん									
10. その他（資源）		0.3			1.3			0.3	
白色の発泡スチロール製食品用トレイ		0.0			1.3			0.2	
ペットボトル		0.3						0.1	
11. その他									
合 計	1729.0	3592.6	1909.7	442.5	2986.9	1008.2	970.8	2199.7	

b. 事業所別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-38 業種別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

(g/事業所・日)

不燃ごみ									
産業分類	建設業	製造業	卸売小売業	不動産業	飲食宿泊業	医療福祉	サービス業	全体	
モニター数	7	29	33	6	14	7	16	112	
可燃ごみ	1. 紙類	0.7	2.6	0.4	0.1	2.8	3.6	1.7	
	OA用紙	0.7	0.5	0.1			2.1	0.5	
	その他紙類		1.5	0.3	0.1	2.6	1.3	1.0	
	残さ付き新聞等		0.6			0.2	0.2	0.2	
	2. 厨芥類	0.1	0.8			2.1	1.2	0.7	
	厨芥（未使用食品）						1.2	0.2	
	厨芥（調理くず、残飯）	0.1	0.8			2.1		0.5	
	3. 繊維類		3.3	0.4				1.0	
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	8.0	10.3	9.7	19.8	16.5	2.9	4.6	10.1
	プラスチック製容器包装類	1.8	8.7	1.8	0.5	9.2		0.5	4.2
	プラスチック製パック・カップ類								
	残さ付き容器包装類（プラスチック）		0.6			5.4		0.3	0.9
	ペットボトル（残さ付き）		0.1	0.1	7.7	0.2		1.9	0.8
	白色トレイ（残さ付き）					0.4			0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器		0.3	2.2	9.8		2.5	1.1	1.6
レジ袋	0.1	0.4	0.7	1.0	1.2	0.4	0.3	0.6	
プラスチック製キャップ類		0.2	1.4	0.8	0.1		0.5	0.6	
発泡スチロールの緩衝材	6.1	0.0	3.5					1.4	
5. その他可燃物	18.6	374.8	58.2	34.9	1.2	11.4	6.1	119.0	
プラスチック類その他	18.6	356.0	43.3	34.6	0.4	11.4	5.9	109.6	
ゴム・皮革		0.8	8.2		0.5			2.7	
その他可燃物		18.0	6.7	0.3	0.3		0.2	6.7	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ	224.6	140.4	192.0	10.7	13.4	161.2	122.5	136.8
	金属類	28.0	101.2	54.0	1.9	7.5	41.6	90.7	60.5
	ガラス・陶磁器類	30.7	8.3	61.1		2.7	8.9	2.6	23.3
	乾電池	4.8	2.6	2.6	2.1	0.4	2.9	0.6	2.2
	充電式乾電池							0.3	0.0
	ボタン電池								
	蛍光灯	40.9	13.3	4.3	0.4	1.4	16.4	6.4	9.4
その他不燃物	120.2	15.0	70.0	6.3	1.4	91.4	21.9	41.4	
資源物	7. 紙類（資源）		3.0	0.8		0.4	2.3	0.6	1.3
	新聞等		0.3						0.1
	雑誌						2.3		0.7
	段ボール		1.8	0.3					0.1
	飲料用紙パック		0.3					0.5	0.1
	紙製容器包装類		0.6	0.5		0.4		0.1	0.4
	8. 缶類（資源）		12.1	5.2	34.4	13.6	0.2	7.1	9.2
	スチール缶		9.8	4.4	33.8	13.0	0.2	6.6	8.2
	アルミ缶		2.3	0.8	0.6	0.6		0.5	1.0
	9. びん類（資源）	6.3	6.1	20.6	4.4	9.4	3.6	2.1	9.9
	リターナブルびん			1.5					0.4
ワンウェイびん	6.3	6.1	19.1	4.4	9.4	3.6	2.1	9.5	
10. その他（資源）									
白色の発泡スチロール製食品用トレイ									
ペットボトル									
11. その他	60.2	4.8	114.6		29.5		18.0	45.0	
合計	318.5	558.2	401.9	104.3	88.9	181.6	165.8	334.7	

c. 事業所別不用物発生原単位詳細（資源物）

図表 2-39 業種別不用物発生原単位詳細（資源物）

(g/事業所, 日)

資源物									
産業分類	建設業	製造業	卸売小売業	不動産業	飲食宿泊業	医療福祉	サービス業	全体	
モニター数	7	29	33	6	14	7	16	112	
可燃ごみ	1. 紙類	23.8	8.8	1.4	5.0	0.0	4.6	5.1	
	OA用紙		8.8	1.3	1.5		0.7	2.9	
	その他紙類	23.8	0.0	0.1	0.8	0.0	1.9	1.8	
	残さ付き新聞等				2.7		2.0	0.4	
	2. 厨芥類			1.1		0.9	0.2	0.5	
	厨芥（未使用食品）								
	厨芥（調理くず、残飯）			1.1		0.9	0.2	0.5	
	3. 繊維類		23.1					6.0	
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	0.9	4.0	6.0	4.5	5.1	4.6	3.4	4.5
	プラスチック製容器包装類		0.1	0.1	0.8	0.1	1.1	0.2	0.2
	プラスチック製バック・カップ類		0.7	0.2				0.1	0.3
	残さ付き容器包装類（プラスチック）		0.1	0.8		0.5	1.8	0.2	0.5
	ペットボトル（残さ付き）		1.4	4.3	2.7	2.7	1.6	1.2	2.3
	白色トレイ（残さ付き）		0.0			0.8		0.3	0.2
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器		0.6						0.1
	レジ袋	0.4	0.4	0.3	0.5	0.8	0.4	0.5	0.4
	プラスチック製キャップ類	0.5	0.7	0.3	0.5	0.2	1.3	0.4	0.5
	発泡スチロールの緩衝材							0.1	0.0
	5. その他可燃物	0.1	0.2		1.9	0.4	11.6	0.0	0.9
	プラスチック類その他		0.2				11.6	0.0	0.8
ゴム・皮革	0.1							0.0	
その他可燃物				1.9	0.4			0.1	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ		42.9	1.9	0.1	0.3	3.3	0.8	11.9
	金属類		41.6	0.4	0.1	0.3	2.2	0.7	11.1
	ガラス・陶磁器類		1.1	1.5					0.7
	乾電池								
	充電式乾電池								
	ボタン電池								
	蛍光灯								
	その他不燃物		0.2				1.1	0.1	0.1
資源物	7. 紙類（資源）	244.9	463.8	713.8	1499.4	144.2	543.2	1173.6	645.6
	新聞等	26.3	240.7	79.7	94.8	64.9	220.7	462.7	180.6
	雑誌	37.0	41.3	199.8	1355.2		128.4	283.1	192.9
	段ボール	166.1	172.4	414.4	36.7	79.1	194.1	415.1	260.4
	飲料用紙バック	2.1	0.3		6.7			1.3	0.7
	紙製容器包装類	13.4	9.1	19.9	6.0	0.2		11.4	11.0
	8. 缶類（資源）	7.0	43.7	22.4	3.4	4.8	41.3	37.5	27.0
	スチール缶	4.5	34.4	13.9	1.9	1.0	30.0	31.1	19.8
	アルミ缶	2.5	9.3	8.5	1.5	3.8	11.3	6.4	7.2
	9. びん類（資源）	34.1	73.6	38.7	10.6	169.5	52.3	94.4	71.1
	リターナブルびん		24.4	1.3		118.5		51.1	28.8
	ワンウェイびん	34.1	49.2	37.4	10.6	51.0	52.3	43.3	42.3
	10. その他（資源）	21.3	19.4	15.7	1.0	26.5	21.3	19.0	18.4
白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.2	0.2	0.7		1.4		0.3	0.5	
ペットボトル	21.1	19.2	15.0	1.0	25.1	21.3	18.7	17.9	
11. その他		5.0						1.3	
合計	332.1	684.5	801.0	1525.9	351.7	677.6	1333.5	792.3	

B. クラスター分類による地域別の不用物発生状況

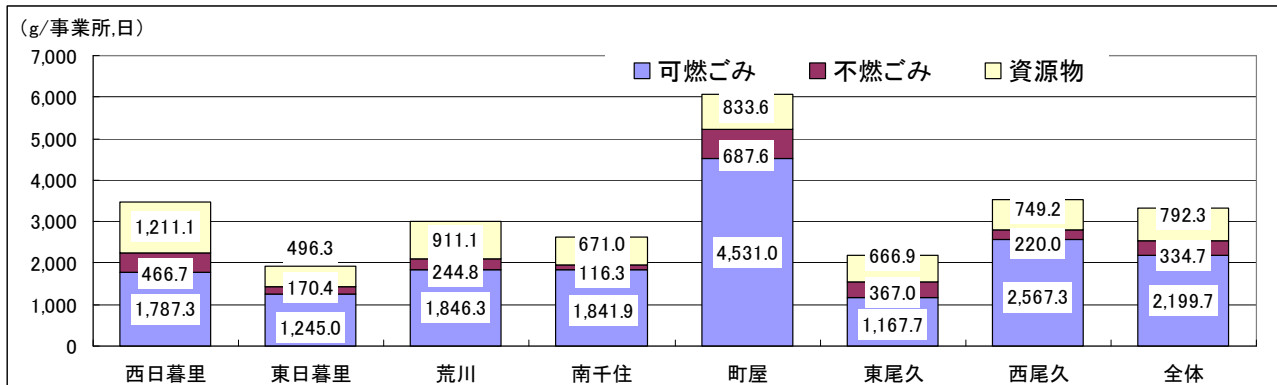
荒川区内の平成18年度の産業割合を調べたところ、区内での事業所の分布には大きな違いがなかったため、クラスターを町別に分けて比較を行った。

クラスター別の、不用物(1事業所1日あたり)の合計発生量が最も多いのは町屋の6,052.2g、次いで西尾久の3,536.5g、西日暮里の3,465.1gとなっている。

発生区分別にみると、可燃ごみの発生が多いのは、町屋4531.0g、次いで西尾久2567.3gで、資源物の発生が多いのは、西日暮里の1211.1g、次いで荒川の911.1g、町屋の833.6gであった。

図表 2-40 事業所におけるクラスター別の不用物発生量

		(g/事業所, 日)							
地域区分		西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体
モニター数		15	13	15	16	18	18	17	112
1	可燃ごみ	1,787.3	1,245.0	1,846.3	1,841.9	4,531.0	1,167.7	2,567.3	2,199.7
2	不燃ごみ	466.7	170.4	244.8	116.3	687.6	367.0	220.0	334.7
3	資源物	1,211.1	496.3	911.1	671.0	833.6	666.9	749.2	792.3
合計		3,465.1	1,911.7	3,002.2	2,629.2	6,052.2	2,201.6	3,536.5	3,326.7



a. クラスター別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-41 クラスター別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

(g/事業所, 日)

可 燃 ご み									
クラスター分類	西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体	
モニター数	15	13	15	16	18	18	17	112	
可 燃 ご み	1. 紙類	297.1	684.1	709.1	242.8	3198.3	240.0	207.9	833.0
	OA用紙	113.6	490.8	100.3	19.8	36.5	55.0	64.5	112.9
	その他紙類	139.3	168.8	602.9	187.3	3046.3	145.8	118.0	676.7
	残さ付き新聞等	44.2	24.5	5.9	35.7	115.5	39.2	25.4	43.4
	2. 厨芥類	508.0	227.1	697.2	804.9	616.8	556.3	983.1	640.5
	厨芥（未使用食品）		7.7		37.3	9.2	16.7	6.2	11.3
	厨芥（調理くず、残飯）	508.0	219.4	697.2	767.6	607.6	539.6	976.9	629.2
	3. 繊維類	9.1	30.8	10.1	10.1	54.0	54.9	91.8	39.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	242.8	64.8	132.6	589.0	150.6	79.9	147.9	201.4
	プラスチック製容器包装類	167.2	26.9	114.5	555.2	70.3	43.2	89.4	152.0
	プラスチック製パック・カップ類	0.1	0.2			0.2	0.2		0.1
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	55.3	17.5	6.5	25.4	30.9	20.5	22.2	25.6
	ペットボトル（残さ付き）	2.9	10.8	0.8	0.5	5.1	2.8	3.8	3.6
	白色トレイ（残さ付き）		0.1	0.3		0.2	0.4	0.6	0.2
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	6.3	3.6	2.2	2.3	6.8	2.0	4.6	4.0
	レジ袋	6.2	4.0	3.7	3.2	3.5	7.7	8.1	5.3
	プラスチック製キャップ類	1.0	1.2	0.1	0.5	0.8	0.3	1.0	0.7
	発泡スチロールの緩衝材	3.8	0.5	4.5	1.9	32.8	2.8	18.2	9.9
	5. その他可燃物	672.4	115.9	180.1	99.0	347.8	91.7	849.9	341.3
	プラスチック類その他	132.0	19.2	40.4	28.0	94.1	17.4	161.5	71.7
ゴム・皮革	1.5	39.3	83.8	42.1	177.4	1.7	11.3	52.5	
その他可燃物	538.9	57.4	55.9	28.9	76.3	72.6	677.1	217.1	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	0.4	0.6	1.0	6.7	5.8	1.6	0.6	2.4
	金属類	0.4	0.3	0.7	0.1	5.7	0.7	0.6	1.3
	ガラス・陶磁器類					0.1			0.0
	乾電池				0.6				0.1
	充電式乾電池				2.3				0.3
	ボタン電池				3.7				0.5
	蛍光灯								
その他不燃物		0.3	0.3			0.9		0.2	
資 源 物	7. 紙類（資源）	57.5	121.0	115.1	89.4	156.9	142.8	285.6	141.5
	新聞等	16.6	5.9	27.3	7.4	35.3	36.5	64.9	29.0
	雑誌	10.1	5.7	8.7	32.7	30.2	21.7	57.1	24.8
	段ボール	6.4	12.6	26.2	8.3	30.8	16.0	104.3	30.4
	飲料用紙パック	2.7	0.6	5.1	0.6	3.1	1.7	3.2	2.5
	紙製容器包装類	21.7	96.2	47.8	40.4	57.5	66.9	56.1	54.8
	8. 缶類（資源）			0.3		0.8	0.5	0.1	0.3
	スチール缶			0.3		0.6	0.2	0.1	0.2
	アルミ缶					0.2	0.3		0.1
	9. びん類（資源）								
	リターナブルびん								
ワンウェイびん									
10. その他（資源）		0.7	0.8				0.4	0.3	
白色の発泡スチロール製食品用トレイ		0.0	0.8				0.4	0.2	
ペットボトル		0.7						0.1	
11. その他									
合計	1787.3	1245.0	1846.3	1841.9	4531.0	1167.7	2567.3	2199.7	

b. クラスター別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-42 クラスター別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

(g/事業所, 日)

不燃ごみ									
クラスター分類	西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体	
モニター数	15	13	15	16	18	18	17	112	
可燃ごみ	1. 紙類	0.2	0.1		2.3	4.2	0.1	4.1	1.7
	OA用紙				0.0	0.8	0.1	2.3	0.5
	その他紙類		0.1		2.3	2.3		1.8	1.0
	残さ付き新聞等	0.2				1.1			0.2
	2. 厨芥類			0.0	1.8	1.3		1.1	0.7
	厨芥（未使用食品）							1.1	0.2
	厨芥（調理くず、残飯）			0.0	1.8	1.3			0.5
	3. 繊維類					4.4	0.8	0.8	1.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	9.1	6.2	10.5	14.2	15.8	7.7	5.7	10.1
	プラスチック製容器包装類	0.5		0.5	8.0	13.6	0.9	3.7	4.2
	プラスチック製パック・カップ類								
	残さ付き容器包装類（プラスチック）		0.2	0.1	4.7	0.8	0.1	0.1	0.9
	ペットボトル（残さ付き）	3.1	2.0		0.2	0.1		0.4	0.8
	白色トレイ（残さ付き）				0.3				0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	2.3	3.2	3.3		0.1	2.2	0.5	1.6
	レジ袋	0.6	0.2	0.5	0.9	0.4	1.1	0.3	0.6
	プラスチック製キャップ類	0.0	0.6	0.8	0.1	0.8	1.0	0.7	0.6
発泡スチロールの緩衝材	2.6		5.3			2.4		1.4	
5. その他可燃物	68.9	11.0	42.1	19.6	547.2	57.2	19.0	119.0	
プラスチック類その他	65.3	11.0	19.0	12.8	541.8	33.4	17.9	109.6	
ゴム・皮革	3.6		9.4	6.5	0.1			2.7	
その他可燃物			13.7	0.3	5.3	23.8	1.1	6.7	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ	149.8	89.3	173.1	26.1	83.0	277.3	141.8	136.8
	金属類	76.7	37.1	94.9	9.9	67.5	115.5	15.4	60.5
	ガラス・陶磁器類	18.9	8.0	45.0	1.6	5.3	65.1	15.1	23.3
	乾電池	1.9	6.3	2.3	0.8	1.1	3.5	0.2	2.2
	充電式乾電池	0.3							0.0
	ボタン電池								
	蛍光灯	4.6	18.7	5.3	0.6	0.8	17.8	18.8	9.4
その他不燃物	47.4	19.2	25.6	13.2	8.3	75.4	92.3	41.4	
資源物	7. 紙類（資源）	0.5	0.9	0.2	0.2	4.4	1.2	1.2	1.3
	新聞等					0.6			0.1
	雑誌								
	段ボール	0.1	0.9	0.2		2.3	1.2		0.7
	飲料用紙パック					0.4		0.5	0.1
	紙製容器包装類	0.4			0.2	1.1		0.7	0.4
	8. 缶類（資源）		26.4	6.1	8.8	9.6	6.1	0.8	9.2
	スチール缶	10.5	22.3	5.4	8.8	8.4	5.1	0.4	8.2
	アルミ缶	0.3	4.1	0.7		1.2	1.0	0.4	1.0
	9. びん類（資源）	3.6	14.4	12.8		17.7	8.8	12.2	9.9
リターナブルびん							2.9	0.4	
ワンウェイびん	3.6	14.4	12.8		17.7	8.8	9.3	9.5	
10. その他（資源）									
白色の発泡スチロール製食品用トレイ									
ペットボトル									
11. その他	223.8	22.1		43.3		7.8	33.3	45.0	
合計	466.7	170.4	244.8	116.3	687.6	367.0	220.0	334.7	

c. クラスター別不用物発生原単位詳細（資源物）

図表 2-43 クラスター別不用物発生原単位詳細（資源物）

(g/事業所, 日)

資源物									
クラスター分類	西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体	
モニター数	15	13	15	16	18	18	17	112	
可燃ごみ	1. 紙類	1.9	0.3	28.1	0.2	4.6	0.2	1.8	5.1
	OA用紙	0.2		16.9		2.9	0.1	0.5	2.9
	その他紙類	1.7	0.3	11.2	0.2		0.1	0.3	1.8
	残さ付き新聞等					1.7		1.0	0.4
	2. 厨芥類			0.2		0.7		0.0	0.5
	厨芥（未使用食品）								
	厨芥（調理くず、残飯）			0.2		0.7	2.1		0.5
	3. 繊維類						37.2		6.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	2.4	1.0	3.2	1.8	2.2	3.9	16.1	4.5
	プラスチック製容器包装類	0.1	0.2	0.1		0.3	0.4	0.3	0.2
	プラスチック製パック・カップ類	0.1					1.2	0.4	0.3
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.5	0.3		0.1	1.5		0.7	0.5
	ペットボトル（残さ付き）	0.3		2.4			0.7	12.3	2.3
	白色トレイ（残さ付き）	1.0	0.1			0.1		0.1	0.2
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器				0.9		0.1		0.1
	レジ袋	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.6	1.4	0.4
	プラスチック製キャップ類	0.2	0.1	0.5	0.7	0.1	0.9	0.9	0.5
	発泡スチロールの緩衝材					0.1			0.0
	5. その他可燃物		0.1			0.4	0.1	5.5	0.9
プラスチック類その他		0.1			0.1	0.1	4.8	0.8	
ゴム・皮革						0.0		0.0	
その他可燃物					0.3		0.7	0.1	
不燃ごみ	6. 不燃ごみ	0.7	1.3	0.1	0.1	68.3	3.4	1.3	11.9
	金属類	0.7	0.7	0.1	0.1	66.6	0.7	0.9	11.1
	ガラス・陶磁器類					1.7	2.7		0.7
	乾電池								
	充電式乾電池								
	ボタン電池								
	蛍光灯								
その他不燃物		0.6					0.4	0.1	
資源物	7. 紙類（資源）	1060.0	338.5	831.5	604.3	640.8	513.8	534.9	645.6
	新聞等	322.5	39.7	314.1	51.5	309.4	198.1	11.8	180.6
	雑誌	220.3	224.1	250.9	518.0	81.6	100.8	3.3	192.9
	段ボール	507.4	71.4	244.3	30.9	219.2	206.2	518.3	260.4
	飲料用紙パック	0.5	0.7	3.2			1.0		0.7
	紙製容器包装類	9.3	2.6	19.0	3.9	30.6	7.7	1.5	11.0
	8. 缶類（資源）	28.1	29.9	25.6	35.9	38.9	22.2	9.3	27.0
	スチール缶	22.7	25.6	19.8	28.7	27.8	9.8	6.6	19.8
	アルミ缶	5.4	4.3	5.8	7.2	11.1	12.4	2.7	7.2
	9. びん類（資源）	79.6	102.9	17.7	18.1	57.0	64.5	158.1	71.1
	リターナブルびん	2.8	54.4			25.4	6.7	111.7	28.8
	ワンウェイびん	76.8	48.5	17.7	18.1	31.6	57.8	46.4	42.3
	10. その他（資源）	38.4	22.3	4.7	10.6	12.6	19.5	22.2	18.4
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	1.3	0.2		0.9	0.2	0.2	0.6	0.5
ペットボトル	37.1	22.1	4.7	9.7	12.4	19.3	21.6	17.9	
11. その他					8.1			1.3	
合計	1211.1	496.3	911.1	671.0	833.6	666.9	749.2	792.3	

③事業系ごみ組成分析結果

A. 可燃ごみ

a. 可燃ごみにおける組成割合

可燃ごみにおける組成割合をみると、全体では紙類が 37.9%と最も高く、次いで厨芥類が 29.1%となっている。厨芥類の中には使用されていない物も 0.5%含まれていた。

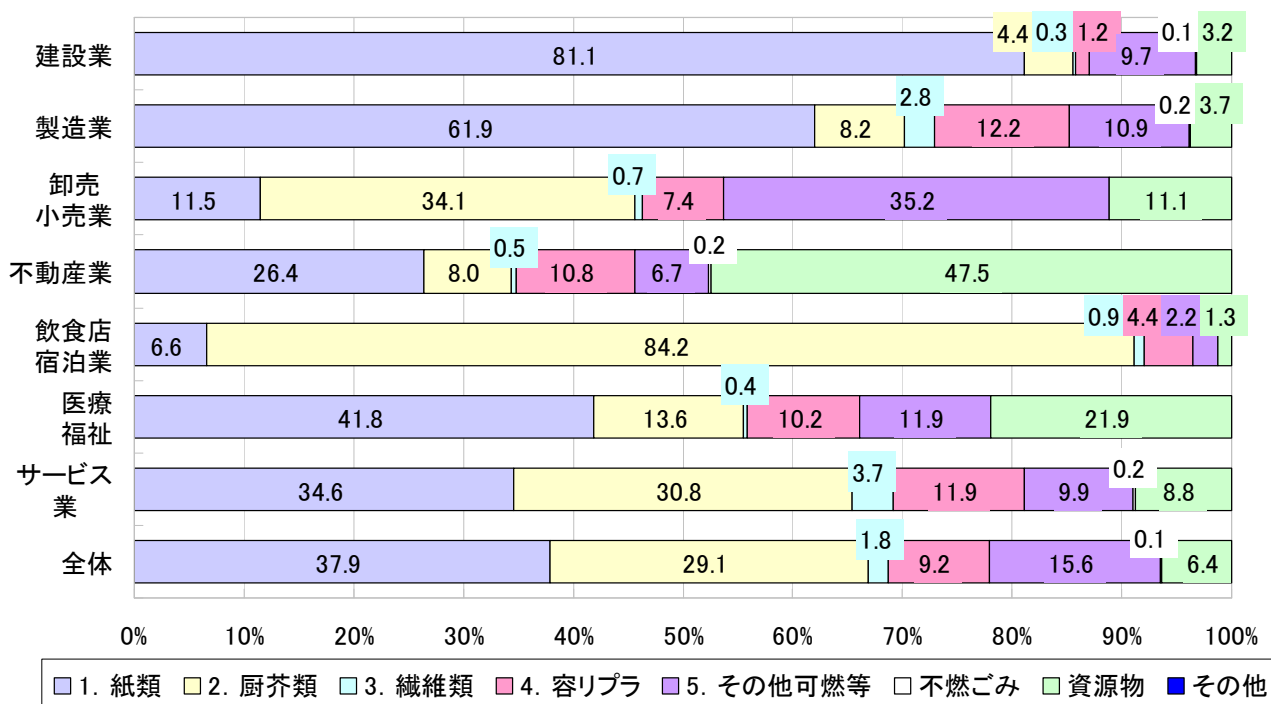
業種別にみると、紙類の割合が最も高い業種は建設業 81.1%、次いで製造業 61.9%、医療・福祉 41.8%、サービス業 34.6%の順であった。厨芥類の割合が最も高い業種は飲食・宿泊業 84.2%、次いで卸売・小売業 34.1%であった。

図表 2-44 可燃ごみの大分類による組成割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所,日)
可燃ごみ	96.7	96.0	88.9	52.4	98.3	77.9	90.9	93.6	2055.2
1. 紙類	81.1	61.9	11.5	26.4	6.6	41.8	34.6	37.9	833.0
2. 厨芥類	4.4	8.2	34.1	8.0	84.2	13.6	30.8	29.1	640.5
3. 繊維類	0.3	2.8	0.7	0.5	0.9	0.4	3.7	1.8	39.0
4. 容リプラ	1.2	12.2	7.4	10.8	4.4	10.2	11.9	9.2	201.4
5. その他可燃等	9.7	10.9	35.2	6.7	2.2	11.9	9.9	15.6	341.3
不燃ごみ	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1	2.4
資源物	3.2	3.7	11.1	47.5	1.3	21.9	8.8	6.4	142.1
その他									
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2199.7

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



b. 可燃ごみに含まれている資源物等の混入割合

可燃ごみに含まれている資源物の混入割合をみると、全体では6.4%混入していた。

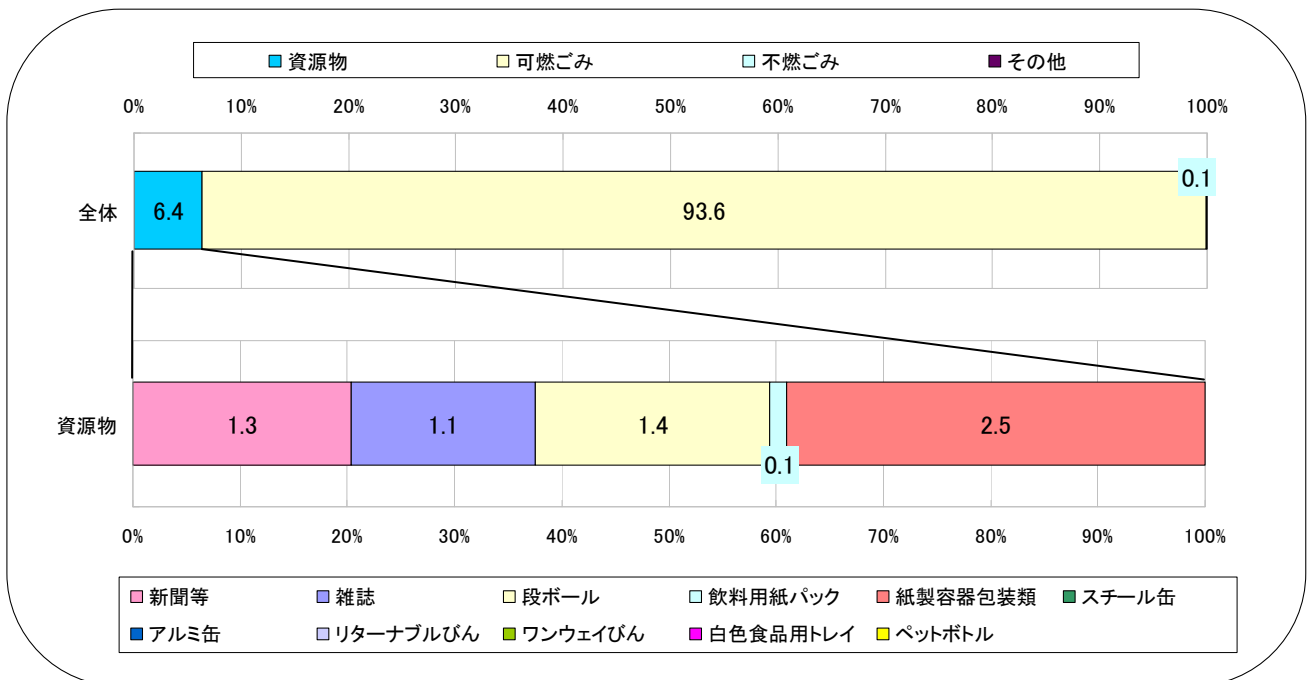
業種別にみると資源物の混入が最も高いのは不動産業の47.5%で、次いで医療・福祉の21.9%であった。

不燃ごみの混入は全業種で0.0~0.2%とかなり低い割合であった。

図表 2-45 可燃ごみへの資源物等の混入割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所, 日)
資源物	3.2	3.7	11.1	47.5	1.3	21.9	8.8	6.4	142.1
新聞等	0.3	0.7	3.3	0.7	0.0	3.0	1.2	1.3	29.0
雑誌	0.3	0.4	1.4	38.4	0.1	2.6	1.3	1.1	24.8
段ボール	0.2	0.5	3.4	3.7	0.4	3.2	1.7	1.4	30.4
飲料用紙パック	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.4	0.5	0.1	2.5
紙製容器包装類	2.3	2.0	2.9	4.3	0.7	12.7	4.1	2.5	54.8
スチール缶			0.0		0.0			0.0	0.2
アルミ缶		0.0	0.0					0.0	0.1
リターナブルびん									
ワンウェイびん									
白色食品用トレイ		0.0			0.0			0.0	0.2
ペットボトル		0.0						0.0	0.1
可燃ごみ	96.7	96.0	88.9	52.4	98.3	77.9	90.9	93.6	2055.2
不燃ごみ	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1	2.4
その他									
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2199.7



B. 不燃ごみ

a. 不燃ごみにおける組成割合

不燃ごみにおける組成割合をみると、全体での混入状況は可燃ごみ 39.5%、資源物 6.1%、その他 13.5%であった。

業種別に見ると、可燃ごみの混入が最も多い業種は製造業 70.1%、次いで不動産業 52.7%となっていた。

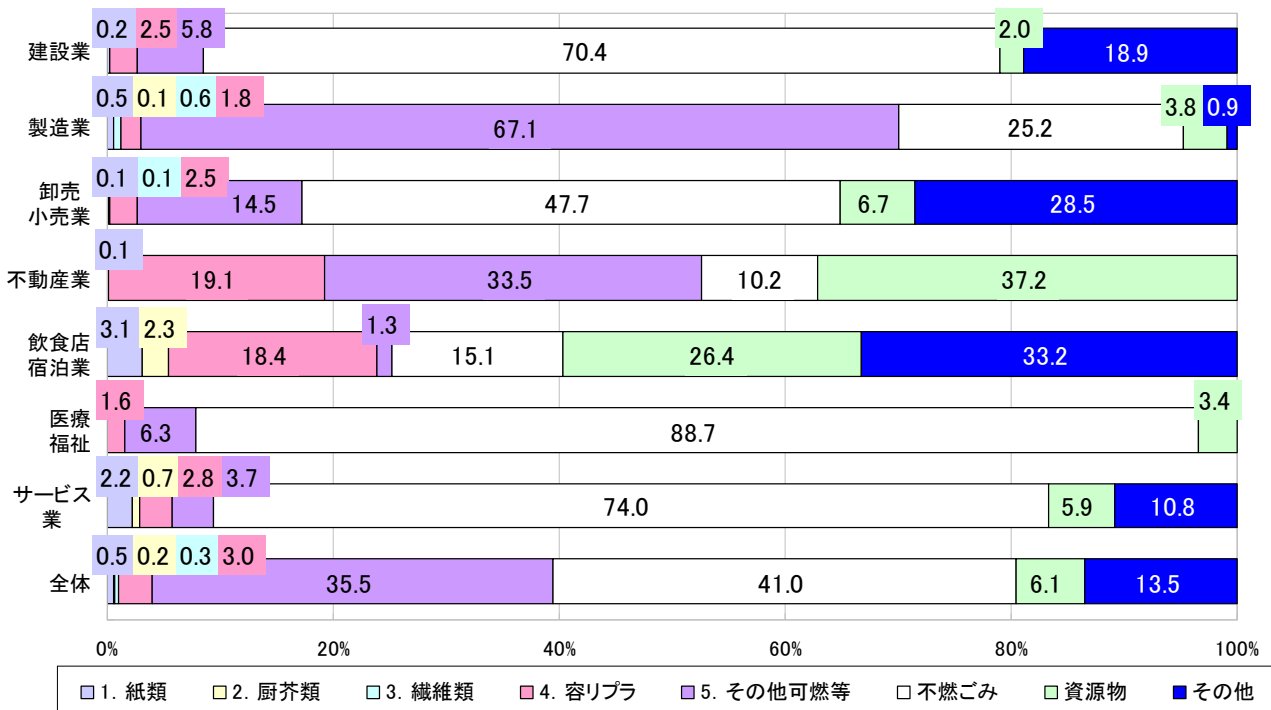
その他（一斗缶や土、粗大ごみ等）の混入が多い業種は飲食・宿泊業 33.2%、卸売・小売業 28.5%、であった。

図表 2-46 不燃ごみへの可燃ごみ等混入割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所, 日)
可燃ごみ	8.5	70.1	17.2	52.7	25.1	7.9	9.4	39.5	132.5
1. 紙類	0.2	0.5	0.1	0.1	3.1	0.0	2.2	0.5	1.7
2. 厨芥類	0.0	0.1	0.0	0.0	2.3	0.0	0.7	0.2	0.7
3. 繊維類		0.6	0.1					0.3	1.0
4. 容リプラ	2.5	1.8	2.5	19.1	18.4	1.6	2.8	3.0	10.1
5. その他可燃等	5.8	67.1	14.5	33.5	1.3	6.3	3.7	35.5	119.0
不燃ごみ	70.4	25.2	47.7	10.2	15.1	88.7	74.0	41.0	136.8
資源物	2.0	3.8	6.7	37.2	26.4	3.4	5.9	6.1	20.4
その他	18.9	0.9	28.5		33.2		10.8	13.5	45.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	334.7

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



b. 不燃ごみに含まれている資源物等の混入割合

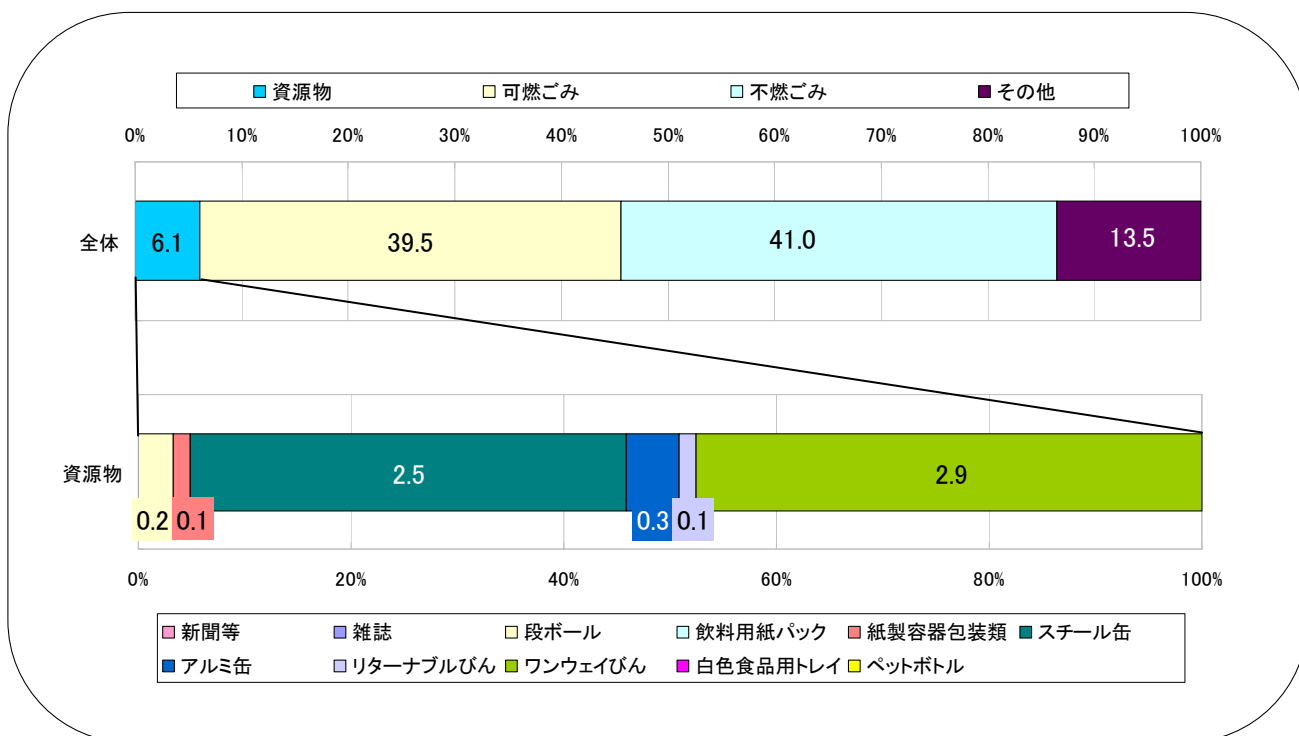
不燃ごみに含まれている、資源物等の混入割合をみると、全体では、資源物が6.1%混入しており、その中でもワンウェイびん2.9%が最も高く、次いでスチール缶2.5%であった。

業種別に見ると、資源物の混入が最も高いのは不動産業 37.2%であり、次いで飲食・宿泊業 26.4%となっていた。

図表 2-47 不燃ごみへの資源物等混入割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所, 日)
資源物	2.0	3.8	6.7	37.2	26.4	3.4	5.9	6.1	20.4
新聞等		0.1						0.0	0.1
雑誌									
段ボール		0.3	0.1			1.3		0.2	0.7
飲料用紙パック		0.0					0.3	0.0	0.1
紙製容器包装類		0.1	0.1		0.4		0.0	0.1	0.4
スチール缶		1.8	1.1	32.4	14.7	0.1	4.0	2.5	8.2
アルミ缶		0.4	0.2	0.6	0.7		0.3	0.3	1.0
リターナブルびん			0.4					0.1	0.4
ワンウェイびん	2.0	1.1	4.8	4.2	10.6	2.0	1.3	2.9	9.5
白色食品用トレイ									
ペットボトル									
可燃ごみ	8.5	70.1	17.2	52.7	25.1	7.9	9.4	39.5	132.5
不燃ごみ	70.4	25.2	47.7	10.2	15.1	88.7	74.0	41.0	136.8
その他	18.9	0.9	28.5		33.2		10.8	13.5	45.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	334.7



C. 資源物

a. 資源物に含まれている可燃ごみ等の混入割合

資源物に含まれている可燃ごみ等の混入割合をみると、全体で可燃ごみは 2.3%、不燃ごみは 1.5%混入していた。

全体的に、可燃ごみ等の混入はかなり少なく、最も割合の大きかった業種は建設業で 7.5%、次いで製造業で 5.3%であった。

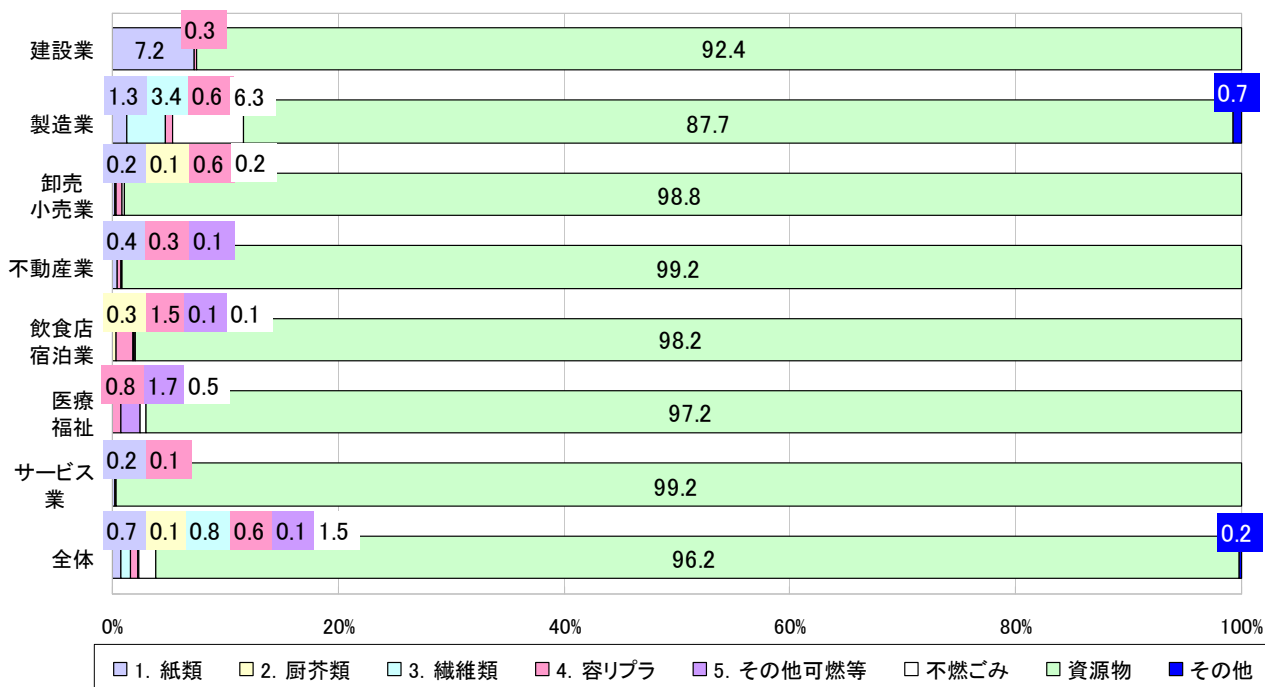
混入されている可燃ごみ 2.3%の詳細を見ると、繊維類 0.8%、次いで紙類 0.7%、容器リサイクル報対象のプラスチック 0.6%の順で高く、この 3 種合計で 2.1%と大半を占めていた。

図表 2-48 資源物への可燃ごみ等混入割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所, 日)
可燃ごみ	7.5	5.3	0.9	0.8	1.9	2.5	0.3	2.3	17.0
1. 紙類	7.2	1.3	0.2	0.4	0.0	0.0	0.2	0.7	5.1
2. 厨芥類	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1	0.5
3. 繊維類		3.4						0.8	6.0
4. 容リプラ	0.3	0.6	0.6	0.3	1.5	0.8	0.1	0.6	4.5
5. その他可燃等	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	1.7	0.0	0.1	0.9
不燃ごみ	0.0	6.3	0.2	0.0	0.1	0.5	0.0	1.5	11.9
資源物	92.4	87.7	98.8	99.2	98.2	97.2	99.2	96.2	762.1
その他		0.7						0.2	1.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	792.3

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



2-3 調査結果の解析

A 家庭系ごみに含まれる容器包装リサイクル法対象のプラスチック類の状況

a. 可燃ごみ

可燃ごみとして処理されている排出物の中の、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類は以下のとおりである。

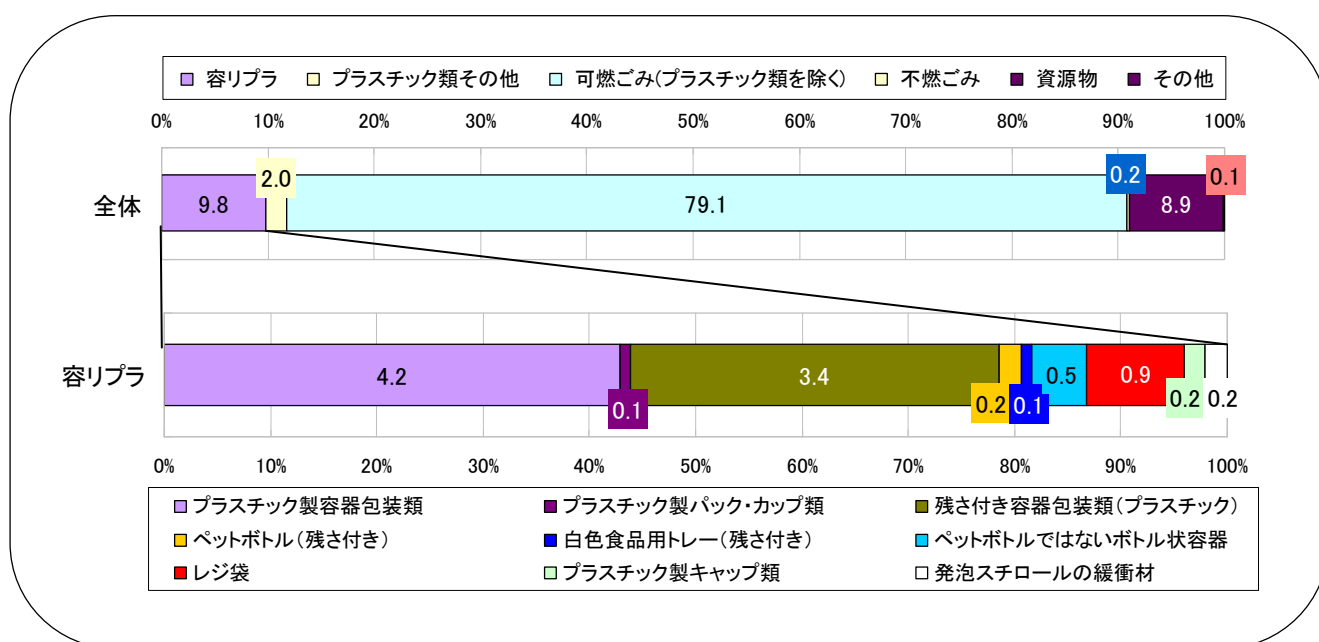
可燃ごみに分類されている容器包装リサイクル法対象のプラスチック類は、9・8%となっている。内訳は、プラスチック製容器包装類 4.2%が最も高く、次いで残さ付きのプラスチック製容器包装類 3.4%となっている。

図表 可燃ごみに含まれている容リプラ混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	原単位合計 (g/人,日)
容リプラ	11.5	9.5	8.5	11.1	9.9	9.8	45.8
プラスチック製容器包装類	5.4	4.0	3.8	4.7	4.4	4.2	20.0
プラスチック製パック・カップ類	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3
残さ付き容器包装類(プラスチック)	3.4	3.3	3.0	3.9	3.4	3.4	16.0
ペットボトル(残さ付き)	0.2	0.2	0.2	0.5	0.1	0.2	1.1
白色食品用トレー(残さ付き)	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3
ペットボトルではないボトル状容器	0.5	0.6	0.4	0.4	0.6	0.5	2.5
レジ袋	1.5	1.0	0.7	1.0	0.8	0.9	4.1
プラスチック製キャップ類	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.7
発泡スチロールの緩衝材	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.8
プラスチック類その他	4.2	1.7	2.7	1.2	1.5	2.0	9.4
可燃ごみ(プラスチック類を除く)	70.8	78.4	80.8	75.9	81.5	79.1	376.0
不燃ごみ	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	1.0
資源物	13.8	10.1	7.9	11.1	6.9	8.9	43.1
その他				0.3		0.1	0.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	475.6

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



b. 不燃ごみ

不燃ごみに含まれている、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類は 3.6%であったが、内訳を見ると、プラスチック製容器包装類 1.4%、残さ付きプラスチック製容器包装類 0.6%、ペットボトルでないボトル状容器 0.5%、レジ袋 0.4%の順になっている。

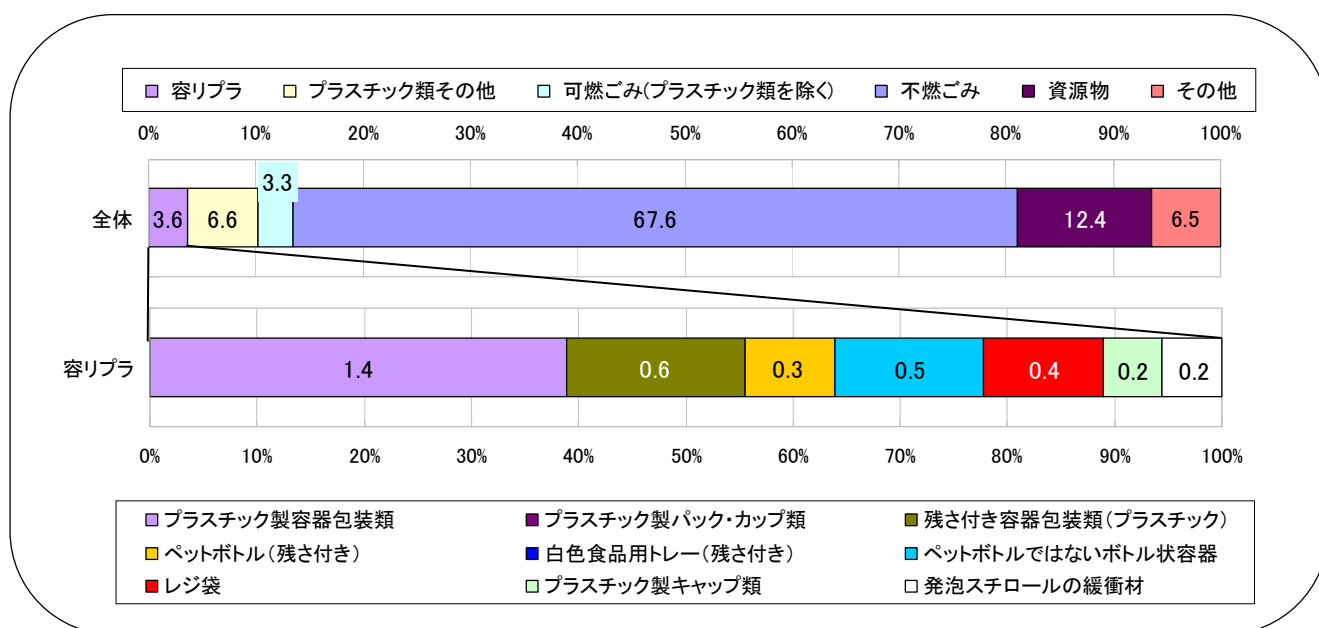
世帯人数別に見ると、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類の混入割合は、3人世帯で 8.1%、次いで1人世帯で 4.4%となっている。

図表 不燃ごみに含まれている容リプラ混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	原単位合計 (g/人,日)
容リプラ	4.4	3.7	8.1	1.2	1.3	3.6	2.2
プラスチック製容器包装類	2.6	0.8	3.0	0.6	0.8	1.4	0.9
プラスチック製パック・カップ類	0.4					0.0	0.0
残さ付き容器包装類(プラスチック)	0.3	1.2	1.4	0.0	0.1	0.6	0.4
ペットボトル(残さ付き)			1.2			0.3	0.2
白色食品用トレイ(残さ付き)			0.1			0.0	0.0
ペットボトルではないボトル状容器	0.4	1.1	1.1			0.5	0.3
レジ袋	0.4	0.3	0.5	0.5	0.3	0.4	0.2
プラスチック製キャップ類	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1
発泡スチロールの緩衝材			0.6		0.0	0.2	0.1
プラスチック類その他	0.8	10.8	10.7	7.8	0.7	6.6	4.0
可燃ごみ(プラスチック類を除く)	2.8	10.8	0.3	3.2	0.0	3.3	2.0
不燃ごみ	82.9	34.9	61.2	75.7	90.3	67.6	40.6
資源物	9.0	14.3	19.6	8.3	7.7	12.4	7.3
その他		25.4		4.1		6.5	3.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	60.0

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



c. 資源物

資源物に含まれている、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類の混入割合は、全体で1.1%であった。内訳は、ペットボトル（残さ付き）0.8%が高いことがわかる。

世帯人数別に見ると、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類は、4人世帯で1.8%、次いで1人世帯で1.5%となっている。

図表 資源物に含まれている容リプラ混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	原単位合計 (g/人,日)
容リプラ	1.5	0.4	1.2	1.8	1.2	1.1	2.4
プラスチック製容器包装類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
プラスチック製パック・カップ類	0.4	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
ペットボトル（残さ付き）	0.6	0.2	1.0	1.3	0.8	0.8	1.6
白色食品用トレー（残さ付き）	0.0	0.0	0.0			0.0	0.0
ペットボトルではないボトル状容器	0.1			0.1	0.1	0.0	0.1
レジ袋	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
プラスチック製キャップ類	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
発泡スチロールの緩衝材		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
プラスチック類その他	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
可燃ごみ（プラスチック類を除く）	3.1	1.4	3.0	0.0	1.6	1.9	3.8
不燃ごみ	1.6	3.4	0.5	0.9	0.7	1.6	3.1
資源物	93.8	94.6	95.0	97.2	96.2	95.4	195.9
その他							
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	205.3

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。

